

林學士中牟田五郎著

森林眼



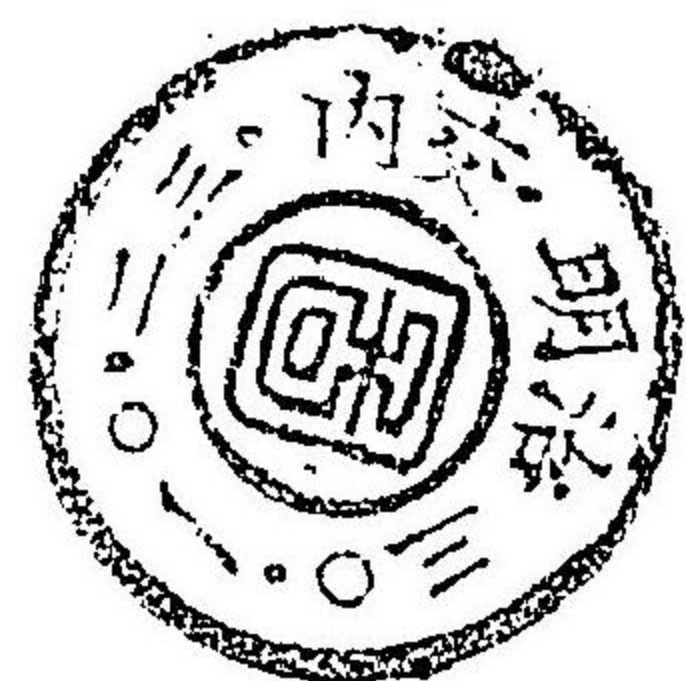
71  
353



林學士中牟田五郎著

森林眼

中牟田氏藏版





自叙

森林ノ問題ハ刻下ノ重要問題否ナ寧ロ國家萬年ノ重要問題ニシテ  
大ニ慎重スヘキ重要ノ問題ナリ之レ森林ノ盛衰ハ國家ノ隆替生民  
ノ安寧ニ關聯スル所ノモノニシテ一旦其法案ヲ誤ルハ之ヲ挽回  
スルニ困難ナルモノナレハナリ我邦森林學ノ開ケテヨリ多クハ歐  
州ノ學說ニ摸倣シ悉ク以テ規ヲ彼レニ假ラントスルカ如キハ蓋シ  
一段ノ注意ヲ要ス想フニ我帝國ハ古來建國ノ歴史及ヒ風土、氣候、  
地勢、位置、樹種其他ノ原因關係ヨリシテ一種特殊ノ妙態ヲ有ス  
ルモノナレハ直ニ歐洲ノ理論ヲ應用セントスルカ如キハ實際不能  
ノ暴舉ニシテ亦國是ヲ誤マル所ロナリ歐洲ハ歐洲ナリ日本ハ日本  
ナリ日本ハ日本固有ノ森林學ヲ起サ、ル可ラス余ハ憂國ノ至誠ヲ  
發奮シ自ラ魯鈍ヲ顧ミス此論ヲ首唱シ日本林業ノ革新進步ヲ絶叫



スルモノナリ諸君奮起セヨ今ヤ森林家ハ倫安苟且ノ時ニ非スシテ  
宜シク吐哺握髮シテ起ツヘキノ秋ナリ現社會ハ吾人森林家ニ一大  
警報ヲ與エタリ諸君奮起セヨ夫子豈ニ自ラ木鐸タルヲ辭センヤ夫  
レ森林家カ實地ニ臨ミ萬般ノ研究ヲナスニ當リ最モ必要ヲ感スル  
ハ樹種ノ名稱之レナリ森林樹木ノ名稱ヲ知悉シテ而シテ之カ性質、  
之カ利用、之カ施業法ヲ琢磨了解シ能フモノニシテ苟モ樹名ヲ知  
ラスシテ而シテ森林學ヲナシ林業ニ從ハントスルハ暗夜ニ道ヲ行  
クト何ソ擇ハンヤ尙且ツ天ハ吾人ニ植物帶ナルモノヲ構成シテ森  
林植物ノ分布ノ狀ヲ明ニス植物帶ハ殖林上至大ノ關係ヲ有スルモ  
ノニシテ南方ニ適スル樟ハ如何ニシテモ北地ニ移植スルコト能ハサ  
ルカ如ク千百ノ森林樹木ハ各自郷土ヲ有シ劃然トシテ侵ス可ラス  
夫レ然リ我邦ハ南臺灣ヨリ北ハ千島ニ至ル最良ノ森林國ニシテ宇

内ニ冠絶スル無數ノ樹類ヲ包有ス從テ未タ學術上實地研究シタル  
結果ヲ見ルコト寥々恰モ曉天ノ星ノ如シ豈ニ長大息セサル可ケンヤ  
夫レ學問上ノ斷論定義ハ幾多ノ實地ノ現狀ヲ綜合シテ得タル結果  
ニ外ナラス今ヤ吾人ハ其ノ實地ヲ視察シテ善美ナル結果ヲ得日本  
森林學ノ定義ヲ探究スルノ急務ヲ感スルモノナリ本書ハ予カ此目  
的ヲ推行スル所ノ設備ニシテ讀者諸君ニ於テ自ラ日本森林ヲ細密  
ニ視察シ以テ日本獨特ノ林學研究ノ材料ヲ得ンコトヲ企圖スルモノ  
ナリ則チ天地間ノ事物細大漏サス詳ニ之ヲ視察スルルキハ其ノ眞理  
ヲ發見スルコト蓋シ難キニ非ラサルナリ本書ハ予カ天下ノ諸士ニ向  
テ充分ニ日本森林ヲ視察センコトヲ希望スルノ微意ニ依テ成レルニ  
外ナラス予カ本書ニ名クルニ森林眼ヲ以テスルモノ蓋シ故ナキニ  
非サルナリ矣



本書著述ニ就森林植物家ヲ以テ有名ナル林學士白澤保美君ノ校閱  
ヲ辱セリ茲ニ特書シテ全君ニ謝恩ノ意ヲ表ス

明治三十年五月

東京ニ於テ

著者識

凡例

- 一 本書ハ固ヨリ完美ノモノニ非ラス杜撰粗陋ノ責メハ余カ  
甘受スル所口請フ教正ヲ賜ハラントヲ
- 一 漢名中( )ヲ付スルモノハ俗字ニシテ和名中「」ヲ  
付スルハ原語ヲ其儘ニ用ヒタルナリ
- 一 和名ノ右傍ニ——ナル單線ヲ付スルモノハ外國種ニシテ  
日本固有ノモノニ非ラス
- 一 和名ハ普通ニ用ユルモノ一種ヲ撰ミ各地ノ方言ニ及ハス
- 一 羅匈名中命名者ノ略名ヲ掲ケス之レ煩雜ヲ避ケンカ爲メ  
ナリ



目次

一 森林植物分科表早見	一頁
一 森林植物分科表	七
一 森林植物以呂波索引	六十九
一 森林植物帶略說	八十五
水平的植物帶之圖	
鉛直的植物帶之圖	
一 日本森林植物帶表	九十九
一 森林植物帶定在樹種	百一
附錄	
森林學教授法一斑	



# 森林眼

森林植物分科表早見

顯花部

(天) 裸子類

(甲) 蘇鐵門

(乙) 松柏門

一、阿加里亞科

二、樅科

三、杉科

四、柏科

五、竹柏科

六、公孫樹科



(地)

被子類

(甲) 單子葉門

一、櫻櫚科

二、榮蘭科

三、鳳梨科

四、禾本科

五、芭蕉科

(乙) 雙子葉門

一、樺木科

二、殼斗科

三、胡桃科

四、楊梅科

五、楊柳科

六、桑科

七、榆科

八、樟科

九、木蘭科

十、雲葉科

十一、山茶科

十二、千屈茶科

十三、金縷梅科

十四、紫陽花科

十五、山梅花科

十六、田麻科

十七、錦葵科

十八、梧桐科



十九、芸香科  
 二十、楝科  
 二十一、苦木科  
 二十二、漆樹科  
 二十三、大戟科  
 二十四、無患子科  
 二十五、槭樹科  
 二十六、衛矛科  
 二十七、鼠李科  
 二十八、海桐花科  
 二十九、冬青科  
 三十、齊墩果科  
 三十一、黃楊科

三十二、五加科  
 三十三、山茱萸科  
 三十四、瑞香科  
 三十五、胡頹子科  
 三十六、薔薇科  
 三十七、荳科  
 三十八、槲寄生科  
 三十九、石南科  
 四十、紫草科  
 四十一、柿樹科  
 四十二、木犀科  
 四十三、玄參科  
 四十四、紫葳科







(3)	ヒロマンナシヤウソギ	科	縦三
	Abietineae	Pinus	(乾)長芽ト短芽トヲ併有スルモノ
	Pinaster	Pinus	松 屬
(4)	Pinus densiflora	Pinaster	(イ)二葉ニシテ一個ノ環紋ヲ有スル者
(5)	Thunbergii		
(6)	sinensis		
(7)	Inchuenensis		
(8)	silvestris		

(9)	Paeda	(ロ)三葉ニシテ球鱗ニ刺ヲ有ス
(10)	Pinus rigida	(黄松)「リギダ」 「アメリカマツ」
(11)	Strobis	(ハ)五葉ナルモノ
	Pinus strobus	(白松)「アメリカマツ」
	Cembra	(ニ)五葉ナルモノ
(12)	Pinus parviflora	姫子松「ヒメコマツ」
(13)	pentaphylla	五銀松「ゴエフマツ」
(14)	Koraiensis	海松「テウセンマツ」



(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	(15)
唐 檜 屬		落葉松屬			るち すど 屬	
(蝦夷松)	唐 檜 タ ウ ヒ	種 落葉松	歐 丹 志 松 古	落葉松	優 松	優 松
エ ゾ マ ツ	エ ゾ マ ツ	レ ル ハ ヒ	シ コ タ ン マ ツ	カ ラ マ ツ	ヒ マ ラ ヤ ス キ	ハ ヒ マ ツ
„	Picea ajaniensis	„	„ kurlensis europaea	Larix leptolepis	Cedrus Deodara Larix	Pinus pumila Cedrus

(坤) 唯々長芽ノミヲ有スルモノ

(31)	(30)	(29)	(28)	(27)	(26)	(25)	(24)	(23)	(22)
白 檜 屬		偽 梅 屬			梅 屬				
白 檜		(米 梅)			(歐 唐 檜)		(美 古 唐 檜)		
シ ラ ベ	モ シ	メ リ ケ ン ツ ガ	ト ガ サ ソ ラ	コ メ ツ ガ	ツ ガ	フ ヒ テ ヒ	イ ラ モ シ	ハ リ モ シ	シ ン コ マ ツ
„	„ Verichii	Abies firma	Pseudo-tsuga japonica „ Douglasii	Pseudo-tsuga diversifolia	Tsuga Sieboldi	„ excelsa	„ bicolor	„ polita	Picea Glehnii







(58)	(57)	(56)	(55)	(54)	(53)	(52)	(51)	(50)	(49)
柏五竹科									
					杜松屬		扁柏屬		
刺松		矮檜		杜松		花柏		扁柏	
ト	シ	ミ	ハ	ハ	イ	ム	サ	ヒ	オ
シ	マ	ヤ	ヒ	ヒ	ン	キ	ハ	ノ	ホ
ヨ	ム	マ	子	ヤ	シ	ロ	ラ	キ	ト
ウ	ロ	ズ	ズ	ン	ン				ス
Podocarpus torulosa Chamaecyparis Chamaecyparis obtusa " pisifera Juniperus Juniperus rigida " chinensis " procumbens " hitoralis " nipponica " taxifolia " communis Podocarpene									

(65)	(64)	(63)	(62)	(61)	(60)	(59)
六公孫樹科						
水松屬		榧屬		粗榧屬		竹柏屬
伽南香		榧		粗榧		竹柏
キ	ア	カ	イ	イ	マ	ナ
ヤ	ラ		ヌ	テ		
ラ	、		ガ			
ボ	ギ	ヤ	ヤ	フ	キ	キ
ク						
Podocarpus Podocarpus Nageia " maclophylla Taxaceae Ginkgo Ginkgo biloba Cephalotaxus Cephalotaxus drupacea Torreya Torreya nucifera Taxus Taxus cuspidata " tardiva						



























(197)	(196)	(195)	(194)	(193)	(192)	(191)	(190)	(189)	(188)
樺 朴 檫									
樹 樹 屬									
樺	朴	刺	檫	檳	蕪				
樹	樹	榆	榆	榆	莢				
ム	エ	シ	ケ	ア	オ	ア	ハ	ニ	コ
ク	ノ		ヤ	キ	ヒ	ツ	ル	ガ	ブ
ノ				ニ	ヨ		ニ	ニ	ニ
キ	キ	ユ	キ	レ	ウ	シ	レ	レ	レ
Ulmus campestris var. vulgaris " " var. major " " var. laevis " " montana " " var. typica " " var. laciniata " " parvifolia Zelkova Zelkova Zelkova Keaki " " Davidii Celtis Celtis Celtis sinensis Aphananthe Aphananthe aspera									

(207)	(206)	(206)	(204)	(208)	(202)	(201)	(200)	(200)	(198)
樟八 科									
樟 楠									
屬 屬									
楠	肉			桂	樟				
木	桂			皮					
ナ	コ	ア	タ	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ン	ブ	ヲ	ブ	ス	ス	ス	ス	ス	ス
ボ	ガ	ガ	ノ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
ク	シ	シ	キ	ヒ	ヒ	ヒ	ヒ	ヒ	ヒ
Lauraceae Cinnamomum Cinnamomum Camphora " " Cassia " " Doederleinii " " Loureirii " " pedunculatum " " sericeum Machilus Machilus japonica Machilus ? " " Kobu " " Nannu									











(251)	(250) (249)	(248)	(247) (246) (245)
金縷梅科 一三、	屈菜科 一二、		
百日紅屬	なつづ ばなつ 屬	旌節花屬	青精屬
紫 薇		旌節花 キ	青 精 サ
サル ルス ベリ	ナ ツ ツ バ キ	フ	カ キ
Hamamelidaceae	Lagerstræmia Lythraceae pseudo-camellia	Stachyurus praecox Stewartia Stewartia monadelphica	Eurya Eurya chinensis japonica ochracea Stachyurus

(263) (258) (257)	(266)	(265)	(264) (260) (262)
	紫陽花科 一四、	楓 屬	蚊母樹屬
	紫陽花屬	楓 屬	蚊母樹 屬
ア マ チ ヤ	ノ リ ノ キ	フ	イ ス ノ キ
マ チ キ	リ ノ キ	フ	イ ス ノ キ
Hamamelis	Hamamelis japonica	Liquidambar formosana Hydrangeaceae Hydrangea Hydrangea Hortensia var. Azisai	Distylium Distylium rasemosum Distylium pauciflora















(311)	(310)	(309)	(308)	(307)	(306)	(305)
<p>二五、 樹科</p>						
七葉樹屬	野鴉椿屬	省沽油屬	龍眼屬	藥樹屬	無患子屬	
七葉樹	野鴉椿	省沽油	龍眼	藥樹	無患子	
トチノキ	ニンズイ	ミツバウツギ	リユウガン	モクゲンシ	ムシロシ	
Aceraceae	Euscaphis japonica	Staphylea Bumalda	Nephelium Litchi	Koelreuteria paniculata	Sapindus Mukurosi	
	Aesculus turbinata	Euscaphis	Longana	Nephelium	Koelreuteria	
		Staphylea				

(323)	(322)	(321)	(320)	(319)	(318)	(317)	(316)	(314)	(313)	(312)		
<p>槭樹屬</p>												
アサノハカヘデ	ヤマシバ	オホメイダツ	ミツバカヘデ	メウリノキ	オニモミダ	チドリノキ	カラコギカヘデ	メイタツカヘデ	コミ子カヘデ	クロビイタヤ	カトリコバナデ	
Acer	Acer argutum	carpinifolium	circunlobatum	cissifolium	crataegifolium	diabolicum	distylum	Ginnala	japonicum	micranthum	Miyabei	Negundo







(355)	(351) (353)	(352) (351)	(350) (349) (348)
鼠李科			
んくろ ばか 屬	なく ぎ 屬	棗 屬	つる ぶら 屬
グ ロ カ ン バ	ヤ ミ ク ヤ マ ヤ ク ナ ギ マ	ハ マ ナ ツ メ	ナ ツ メ キ コ ツ ル ウ メ キ ハ シ ル メ キ
Rhamnus costata	Rhamnus pauciflora Berchemia racemosa Berchemia	Zizyphus vulgaris Palurus anbletia	Celastrus articulatus Celastrus humilis Fagellaris Rhamnaceae Zizyphus

(368) (362) (361) (360)	(369) (368)	(367)	(366)
二九 冬青科		二八 海桐花科	
冬青 屬	海桐花 屬	枳 椇 屬	
	海桐花	枳 椇	
マ ル バ イ ヌ ツ ゲ	タ ウ ソ ヨ ゴ	イ ソ ノ キ	ゲ ン ボ ナ シ
Aquifoliaceae Ilex Ilex crenata " " var. unierophylla " " Oldhami " " rotundifolia	Pitosporum Pitosporum Pitosporum " undulatum	Rhamnus oreната Hovenia Hovenia dulcis Pitosporeae Pitosporum	



(874) (873)	(872) (871) (870) (869) (868) (867) (866) (865) (864)
三〇、 齊整果科	
齊整果屬	
齊整果	落霜紅 冬青
ハクウンボク	アカツゲ
エゴノキ	ウメモドキ
	フクラシバ
	ソヨゴ
	アカミツキ
	アラハダ
	タラエフ
	モチノキ
	モチノキ
	メウリドン
	メウリドン
	Flex geniculata.
	” integra
	” latifolia
	” macropoda
	” microcoeca
	” pedunculosa
	” rotunda
	” Sieboldi
	” Sugeroki
	Stryracene
	Stryrax
	Styrax japonica
	” obassia

(888)	(882) (881)	(880) (879) (878) (877) (876) (875)
三一、 黄楊科		
黄楊屬	があらさ屬	灰木屬
錦熟黄楊		
アサマツグ	オホバアサガラ	アサガラ
	サハフタギ	カンザンロウノキ
		クロキ
		ミノバ
		シロバ
		ハイノキ
		Symplocos
		Symplocos myrtacea
		” lancifolia
		” nerifolia
		” prunifolia
		” spicata
		” orataegoides
		Halesia
		Halesia
		Halesia corymbosa
		” hispida
		Buxaceae
		Buxus
		Buxus japonica



(882)	(891)	(890)	(889)	(888)	(897)	(886)	(885)	(884)
五三、 加科								
五加屬			五加屬			五加屬		
常春藤屬			五加屬			黃楊木		
常春藤	木	木	木	木	木	木	木	木
ウ	タ	ラ	ノ	キ	シ	ヤ	マ	ウ
キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
<i>Hedera</i>	<i>Aralia</i>	<i>Aralia</i>	<i>Aralia</i>	<i>Aralia</i>	<i>Aralia</i>	<i>Aralia</i>	<i>Aralia</i>	<i>Buxus</i>
<i>sinensis</i>	<i>sinensis</i>	<i>sinensis</i>	<i>sinensis</i>	<i>sinensis</i>	<i>sinensis</i>	<i>sinensis</i>	<i>sinensis</i>	<i>microphylla</i>

(401)	(400)	(399)	(398)	(397)	(396)	(395)	(394)	(393)
三三、 山茶黄科								
八角楓屬			青木屬			山茶黄屬		
八角楓			桃葉珊瑚			山茶黄		
ウ	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
リ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
ノ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
<i>Morlea</i>	<i>Morlea</i>	<i>Morlea</i>	<i>Morlea</i>	<i>Morlea</i>	<i>Morlea</i>	<i>Morlea</i>	<i>Morlea</i>	<i>Morlea</i>
<i>plataniifolia</i>	<i>plataniifolia</i>	<i>plataniifolia</i>	<i>plataniifolia</i>	<i>plataniifolia</i>	<i>plataniifolia</i>	<i>plataniifolia</i>	<i>plataniifolia</i>	<i>plataniifolia</i>



(410)	(409)	(408)	(407)	(406)	(405)	(404)	(403)	(402)
三四、 瑞香科								
			三極屬		瑞香屬			
			雁皮屬					
			蕘		瑞		莞	
			花		香		花	
ア	キ	ミ	イ	オ	ナ	チ	ヤ	ウ
フ	ガ	ヤマ	ヌ	ニ	ニ	ヤ	ウ	ヂ
ガ	ン	ガン	ガン	シ	ワ	ウ	ヂ	ザ
ン	ピ	ン	ン	バ	ウ	ケ	ツ	ラ
ピ		ピ	ピ	リ				
			黄瑞香		Daphne		Thymelaeaceae	
			ミ		Genkwa			
			ツ		jessoensis			
			マ		odora			
			タ		pseudo-mezereum			
			タ		Edgeworthia			
			タ		Edgeworthia			
			タ		papyrifera			
			タ		Wikstroemia			
			タ		Wikstroemia			
			タ		Gampi			
			タ		gynopoda			
			タ		japonica			
			タ		retusa			

(419)	(418)	(417)	(416)	(415)	(414)	(413)	(412)	(411)
				三五、 胡頹子科				
				三六、 薔薇科				
				梨屬				
				胡頹子屬				
				大 半 夏				
				胡 頹 子				
コ	ナ	ウ	ア	ナ	マ	ツ	ガ	
リ	ナ	ラ	キ	ハ	ル	ル	ン	
ン	カ	シ	ダ	シ	バ	バ	ン	
ユ	マ	ロ	シ	ロ	ダ	ダ	ユ	
ユ	ド	シ	シ	ダ	ダ	ユ		
				Wikstroemia sikokianum				
				Elaeagnaceae				
				Elaeagnus				
				Elaeagnus glabra				
				macrophylla				
				edulis				
				pungens				
				umbellata				
				Rosaceae				
				Pirus				
				Pirus Aria				
				var. kamaonensis				
				var. anouparia				
				var. japonica				
				baecata				











(470)	(472)	(471)	(470)	(469)	(468)	(467)	(466)
三八、 懈寄生科							
寄生木属		懈寄生属		藤属		合歡属	
寄生木	寄生木	寄生木	藤	藤	合歡	合歡	合歡
ヤ	オホ	マ	ス	ス	キ	ハ	ス
リ	ホ	ツ	ヨ	ヨ	ト	ナ	ス
キ	ン	グ	ウ	ウ	ノ	ス	ウ
	ヤ		フ	フ	キ	ウ	ウ
Viscum album	Viscum	Yadoriki	japonica	Kuanrhia floribunda	Albizzia julibrissin	Cercis chinensis	Caesalpinia sappan
		Kaempferi	Loranthaceae	Kuramhia	Albizzia		
			Loranthus				

五十八

(482)	(481)	(480)	(479)	(478)	(477)	(476)	(475)	(474)
三九、 石南科								
椴木属			椴木属			こあばく属		
椴木	椴木	椴木	椴木	椴木	椴木	椴木	椴木	椴木
ア	ア	イ	ク	シ	ア	ド	ド	ド
ウ	ウ	ハ	ロ	ヤ	ク	ヒ	ヒ	ヒ
ラ	ラ	ツ	マ	シ	ク	ノ	ノ	ノ
ツ	ツ	ノ	メ	ヤ	シ	リ	リ	リ
ノ	ノ	シ	ノ	シ	ヤ	キ	キ	キ
シ	シ	シ	キ	ン	ン	バ	バ	バ
Lyonia	Andromeda nikoensis	Pieris praestans	Vitis idaea	Vaccinium japonicum	Ericaceae	Viscum japonica		

五十九



















森林植物以呂波索引

イ  
 イハツツジ  
 イハウメツル  
 イハヤナギ  
 イボタノキ  
 イトザクラ  
 イトスギ  
 イチジク  
 イチヒガシ  
 イヌガヤ  
 イヌガシ  
 イヌガンピ

407 211 62 122 178 48 450 525 167 350 479

イヌツグ  
 イヌナシ  
 イヌヅス  
 イヌブナ  
 イヌエシジユ  
 イヌザクラ  
 イヌザンセウ  
 イヌシデ  
 イタヤカ入デ  
 イタヤメイゲツ  
 イソツツジ  
 イソフキ

356 501 334 330 118 275 437 462 140 208 420 360

イラモミ  
 イブキビヤクシン  
 イテフ  
 イスノキ  
 口  
 ロウレル  
 ハ  
 ハイノキ  
 バイクワツ、ジ  
 ハチク  
 ハリギリ  
 ハリモミ

23 388 86 508 375 225 255 61 53 24



ボダイジユ  
 ホソバイヌビハ  
 ホソバコリヤナキ  
 ホソバシヤクナゲ  
 ホウビチリ  
 ホザキナナカマド  
 ボケ  
 ヘラノキ  
 ト  
 トベラノキ  
 トマツ  
 トチノキ

311 35 358 264 429 428 88 503 165 184 263

トリモチノキ  
 トカチヤナギ  
 トカザワラ  
 トヨウフヂ  
 ト子リコ  
 ト子リコバノカヘデ  
 トサミヅキ  
 トキハイヌビハ  
 トキハレンゲ  
 トシヨウ  
 チ  
 チドリノキ  
 チリメンモミジ

328 318 58 232 182 253 323 526 470 28 157 238

チヤ  
 チヤボユヅリハ  
 チヤウヂザクラ  
 チヤウジヤノキ  
 チヤンチン  
 チマキザサ  
 チザウカンバ  
 チシヤノキ  
 チシマヤナギ  
 チシマザサ  
 チンチヤウゲ  
 チンコウ  
 リ

301 404 87 153 513 105 93 285 324 402 296 240

ハルニレ  
 ハダンキヤウ  
 ハナカヘデ  
 ハナスワウ  
 バクチノキ  
 ハクウンボク  
 ハクヤウ  
 ハクサンボク  
 ハクモクレン  
 ハマボウ  
 ハマガウ  
 ハマナツメ  
 ハマクサギ

540 352 538 270 227 547 151 374 445 467 332 435 140

ハマセンダン  
 ハマビハ  
 ハマヒサガキ  
 ハコ子ウツギ  
 ハシバミ  
 ハシドヒ  
 ハヒ子ズ  
 ハヒマツ  
 ハヒビヤクシン  
 バセウ  
 ハゼノキ  
 ハンノキ  
 ニ

113 288 95 54 15 58 531 114 557 245 213 280

ニハウメ  
 ニホヒヒバ  
 ニガニレ  
 ニガキ  
 ニレ  
 ニクケイ  
 ニシキウツギ  
 ニシキギ  
 ニンジンボク  
 ホ  
 ホホノキ  
 ホルトノキ  
 ボダイジユ

184 267 226 537 339 556 201 187 287 187 44 444



カ  
カイダウ  
カハラハンノキ  
カハヤナキ  
カヘデ  
カヂカヘデ  
カツラ  
ガヅマル  
カナクギノキ  
カナメモチ  
カラマツ  
カラコギ  
カラスノサンセウ

276 319 17 432 223 185 239 331 326 162 112 426

カムロザ、  
カウヅ  
カウエウザン  
カウヤマキ  
カヤ  
ガマズミ  
カゴノキ  
カキ  
カミノキ  
カシハ  
カンボク  
カンザプロウノキ  
カンコノキ

303 379 549 134 175 515 209 544 63 37 38 177 85

カンザクラ  
ガンピ  
ヨ  
ヨトガハツツジ  
ヨシノサクラ  
タ  
タイサンボク  
タイサンチク  
ダイミンチク  
タニガハヤナギ  
タニウツギ  
タチヤナギ  
タカノツメ

385 161 558 159 81 94 228 455 499 411 437

リヨウブ  
リウキウツ、ジ  
リウキウマツ  
リキダ  
リュウガン  
リンボク  
リンゴ  
リンデ  
ヌルデ  
ヌ  
ヲ  
オ  
オロシマチク  
オニウコギ

386 19 293 266 422 456 308 9 7 498 484

オニグルミ  
オニシバリ  
オニモミヂ  
オホイトスギ  
オホイタビ  
オホバイボタノキ  
オホバノシラカンバ  
オホバツロモジ  
オホバヤドリギ  
オホバヤナギ  
オホバアサガラ  
オホバミ子バリ  
オホバシナノキ

265 161 382 166 472 217 98 524 183 49 317 405 142

オホガメノキ  
オホナラ  
オホヤマレンジ  
オホメイゲツ  
ヲトコヨウヅメ  
オリブ  
オガタマノキ  
ヲガラバナ  
ヲナゴダケ  
ヲノラレ  
オビヨウ  
ワ  
ワウゴンチク

89 192 99 82 337 235 522 550 314 231 132 546



子ズコ  
子ズミモチ  
ナ  
ナハシログミ  
ナニワズ  
ナリヒラダケ  
ナガバノヲノヲレ  
ナガバヤナギ  
ナツツバキ  
ナツグミ  
ナツメ  
ナ、カマド  
ナ、メノキ

308 418 351 414 250 168 100 83 403 415 523 41

ナラバガシ  
ナラガシハ  
ナギ  
ナシ  
ナンボク  
ナンヤウスギ  
ナンキンハゼ  
ナンキンナ、カマド  
ム  
ムロ  
ムラサキハシバミ  
ムラサキヤシホツ、ジ  
ムラサキキリシマ

494 485 116 52 421 294 2 207 425 59 135 123

ムラサキシキブ  
ムクロジ  
ムクノキ  
ムクゲ  
ウ  
ウバメガシ  
ウハミツザクラ  
ウリハダカヘデ  
ウリノキ  
ウルシ  
ウダイカンバ  
ウツギ  
ウラジロカンバ

102 260 106 290 401 333 442 125 406 197 305 534

タラノキ  
タラエフ  
タムシバ  
タウカヘデ  
タウソヨゴ  
タウツバキ  
タウツ、ジ  
タウヅハ  
タウセンダン  
タウヒ  
タウスギ  
タケカンバ  
ダケモミ

32 104 42 20 284 171 511 243 359 337 233 366 392

タブノキ  
ダンカウバイ  
タン子エ  
レ  
レイシ  
レルヘエ  
レンゲツ、ジ  
ソ  
ソヨゴ  
ソテツ  
ツ  
ツバキ  
ツリバナマユミ

346 241 1 369 510 19 307 36 218 204

ツルイチジク  
ツルカウヅ  
ツルウメモトキ  
ツルグミ  
ツルマサキ  
ツガ  
ツタウルシ  
ツノハシバミ  
ツク  
ツク  
ツクバ子ガシ  
子  
子ムノキ  
子ジキ

483 468 126 69 115 292 26 344 412 348 176 181



クスノキモドキ  
 ヤ  
 ヤヘヤマセイシクワ  
 ヤドリギ  
 ヤチダモ  
 ヤチヤナギ  
 ヤダケ  
 ヤグルマ  
 ヤマハゼ  
 ヤマパウシ  
 ヤマハンノキ  
 ヤマカウバシ  
 ヤマツノジ

491 214 107 396 289 233 74 148 529 473 489 200

ヤマ子コヤナギ  
 ヤマナラシ  
 ヤマウルシ  
 ヤマダハ  
 ヤマザクラ  
 ヤマシバ  
 ヤマビハ  
 ヤマモ、  
 ヤブニクケイ  
 ヤブムラサキ  
 ヤブデマリ  
 ヤエザクラ  
 ヤシ

704 54 553 535 202 147 561 313 453 172 291 150 153

ヤシヤブシ  
 マ  
 マルバイヌツゲ  
 マルバニツケイ  
 マルバチシヤノキ  
 マルバグミ  
 マルメロ  
 マカンバ  
 マダケ  
 マツグミ  
 マウサウチク  
 マダハ  
 マテバシヒ

138 173 77 471 79 96 430 413 514 203 363 108

ウラシロウコギ  
 ウラジロノキ  
 ウラジロクロモジ  
 ウラシロモミ  
 ウグイスカグラ  
 ウコギ  
 ウコンウツギ  
 ウメ  
 ウメモドキ  
 ウシコロシ  
 ウンゼンツツジ  
 ノ  
 フリノキ

258 519 493 371 448 559 390 542 33 216 417 387

ノムラカヘデ  
 ノヤナギ  
 ノブノキ  
 ク  
 クロチク  
 クロガキ  
 クロガシ  
 クロカンバ  
 クロマツ  
 クロマメノキ  
 クロフ子ツノジ  
 クロキ  
 クロビイタヤ

322 378 507 478 5 355 128 516 78 146 164 327

クロモジ  
 クハ  
 クリノキ  
 クヌギ  
 クワリン  
 クマノミヅキ  
 クマヤナギ  
 クマザサ  
 クマシデ  
 クサエンジュ  
 クサギ  
 クスノハカヘデ  
 クスノキ

198 325 539 459 120 76 353 395 431 129 139 170 220



コクタン	コクテシギ	コクサギ	ゴマノキ	コマユミ	コケモ	コブニレ	コブガシ	コブシ	ゴエフマツ	ゴサンチク	コメツガ	コミ子カヘデ
321	27	73	13	229	206	188	477	340	552	278	345	518
コシアブラ	ゴシユユ	ゴゼンタチバナ	ゴズイ	エ	エツツ、シ	エバウハミツ	エツヤナギ	エツマツ	エツゴゼンタチバナ	エラン	エウラクツ、シ	エノキ
196	482	71	399	21	158	449	495	310	394	379	389	
エゴノキ	エンジユ	テ	デロ	テツカヘデ	テウヂグルミ	テウセンマツ	テндаイウヤク	ア	アベマキ	アチサイ	アヲハダ	アヲカゴノキ
210	367	257	131	224	14	143	329	149	460	373		

マサキ	マキ	マユミ	マメガキ	マメザクラ	マンサク	ケ	ケイロ	ケニシキギ	ケハリノキ	ケヤキ	ケンボナシ	フ
357	194	110	341	199	252	443	517	342	60	343		
フヂ	フウ	プナ	フウリンウメモドキ	フクラシバ	フサザクラ	フユザンセウ	フシノキ	フジキ	フヒテエ	コ	コイチシク	コハウチハカヘデ
335	179	25	461	293	277	237	370	364	141	256	469	
コバンモチ	コバンノキ	コバノイヌツゲ	コバノガマズミ	コバノミツバツ、シ	コトウ	コリヤナギ	コリンゴ	コツルウメモドキ	コナラ	コムウサキ	コウルウメ	コノテガシフ
46	551	536	130	349	419	163	152	506	545	361	302	268



サハシバ  
 サハフタギ  
 サルナメ  
 サルヤナギ  
 サルスベリ  
 サカキ  
 サツキ  
 サウシカンバ  
 サザンクワ  
 サンタウ  
 サンゴジュ  
 サンジュユ  
 サンセウ

274 398 548 451 242 103 492 247 251 156 249 380 119

キ  
 キイヘエル  
 キハダ  
 キバナシヤクナゲ  
 キリ  
 キリシマ  
 キヌヤナギ  
 キガンピ  
 キツカウチク  
 キツタ  
 キヤラボク  
 キフジ  
 キサ、ゲ

533 248 65 393 75 409 169 493 532 487 281 8

キンカン  
 キンギンボク  
 キンメイチク  
 ユ  
 ユヅリハ  
 ユズ  
 ユスラウメ  
 メ  
 メイゲツカヘデ  
 メリケンツガ  
 メウリノキ  
 メジロザクラ  
 ミ

439 316 29 320 453 273 297 91 543 272

アラガシ  
 アラガンピ  
 アラダモ  
 アラキ  
 アラギリ  
 アラモリトマツ  
 アラモジ  
 アワブキ  
 アカガシ  
 アカツゲ  
 アカウ  
 アカマツ  
 アカメガシハ

298 4 186 372 124 560 215 34 271 400 528 410 205

アカミツギ  
 アヅキナシ  
 アツシ  
 アナ、ス  
 アラ、ギ  
 アクシバ  
 アマチヤ  
 アケボノツツジ  
 アブラチヤン  
 アブラツ、ジ  
 アブラギリ  
 アサガラ  
 アサダ

121 381 299 481 219 504 259 475 64 72 191 423 368

アサノハカヘデ  
 アサマツゲ  
 アキニレ  
 アキグミ  
 アメリカマツ  
 アメリカマツ  
 アセビ  
 アンズ  
 サ  
 サイカチ  
 ザイフリボク  
 サハラ  
 サハグルミ

145 51 434 465 436 480 10 11 416 193 383 312



シラカンバ	シヤクナゲ	シヤケツイバラ	シヤシヤンボ	シマダコ	シマムロ	シマヅワ	シマザサ	シコタンマツ	シテ	シキミ	シユ	シユロ
66	195	236	117	18	84	174	57	527	463	464	502	93
シユロチク	シヒノキ	シモクレン	シンジユ	シンコマツ	ヒ	ヒロバノナシヤウスギ	ヒロウ	ヒロバノツリバナ	ヒバ	ヒトツバハギ	ビチク	ヒカゲツ、ジ
469	92	304	47	347	68	3	22	286	230	136	63	
ヒガンザクラ	ヒウガミヅキ	ヒノキ	ヒノキバヤトリギ	ヒマラヤスギ	ヒサカキ	ヒメヲガラバナ	ヒメツグ	ヒメウツギ	ヒメグルミ	ヒメヤシヤブシ	ヒメコマツ	ヒメコブシ
234	12	109	114	261	384	338	246	16	474	50	254	447

ミ子カヘデ	ミツハウツギ	ミツバツ、シ	ミツナラ	ミツマタ	ミツデカヘデ	ミツキ	ミヤマイヌザクラ	ミヤマハ、ソ	ミヤマハシノキ	ミヤマガマズミ	ミヤマガシビ	ミヤマ子ズ
56	408	553	111	562	457	397	315	406	133	488	309	338
ミヤマナ、カマド	ミヤマウコギ	ミヤマクマヤナギ	ミヤマザクラ	ミヤマシグレ	ミヤマシキミ	ミザクラ	ミ、ズバイ	シ	シロバイ	シロバノコメツ、ジ	シロダモ	
212	512	376	222	377	440	282	551	446	354	391	424	
シロヤシホ	シロシヤクナゲ	シロモジ	シバヤナギ	シリフカ	シヲジ	シダレヤナギ	シタン	シナノキ	シナマツ	シラベ	シラキ	シラガシ
127	300	31	6	262	393	154	530	137	160	221	486	505



ヒメユヅリハ	490	セクライヤ	39
ヒヒラギ	500	セクライヤ	40
モ	452	センニンスギ	43
モチツ、ジ	30	センダン	283
モチノキ	521	ス	
モツコク	306	スイカヅラ	541
モクゲンジ	244	スヂコクタン	519
モクセイ	466	スワウ	41
モミ	41	スギ	427
モモ	427	ズミ	90
セ	441	スダケ	
セイガイツ、ジ		スモ、	
セイシクワ			

森林植物帶略説

地球上同一氣候内ニ繁生スル植物自然ニ各郷土ヲ占領シテ帶狀ヲ成セル之ヲ植物帶ト稱ス蓋シ吾人ハ林業ニ關スル植物ノミニ就テ之ヲ論スルカ故ニ又更ニ之ヲ森林植物帶ト特稱スルナリ

森林植物帶ヲ別テ水平的植物帶鉛直的植物帶ノ二トス水平的植物帶トハ緯度ニ關シテ之ヲ云ヒ鉛直的植物帶トハ土地ノ高低ニ關シテ之ヲ云フ

地球上ニハ熱帶、温帶、寒帶ノ別アリテ各帶生育ノ植物ヲ異ニス人若シ赤道下ヨリ南北兩極ニ向テ進行セハ熱帶ノ植物漸ク絶テ温帶ノ植物之ニ代リ漸ク寒帶ニ入レハ前兩帶中ニ生セサル所ノ植物ヲ見ルヘシスノ如ク赤道ヲ距ル愈遠ケレハ植物ノ種屬愈變シ終ニ氷帶ニ入レハ纔カニ苔蘚ノ生スルアリテ滿目唯タ氷海雪山ヲ見ルノミナラン之ヲ要スルニ同一氣候内ニ繁生スル植物ハ必ス同一氣



候ノ帶中ニ生育ス故ニ熱帶ヲ好ムノ樹種ニシテ温帶中ニ十分ノ繁茂ヲ成シ温帶ヲ好ムノ樹種ニシテ寒帶中ニ十分ノ繁茂ヲ成スハ理ノ決シテ無キ所ナリトス試ニ同緯度ニ當ルノ方向ヲ變セスシテ地球ヲ東西ニ一周スレハ必ス氣候ト植物ト共ニ各地大差ナキヲ見シ之レ植物モ亦氣候ニ隨テ同シク線帶ノ狀ヲ成シ地球ヲ環繞スルニ由リテ植物帶ノ名因テ起ル所以ナリ

又平地ヲ行クモ高山ニ登ルモ寒暖ノ漸々變異スル狀況ハ同一ナリ假令ハ赤道下ノ高山ニ登レハ山下ハ熱帶ノ樹木ヲ見ルハ漸ク登ルニ隨ヒ温帶ノ樹種トナリ更ニ登テ寒帶ノ樹種トナリ終ニ氷雪千古消エサルノ地ニ至ルヘシ唯々平地ヲ行クハ寒暖ノ差ヲ生スル遲緩ニシテ高山ニ登レハ其差ヲ見ル甚タ急速ナルノミ

然レハ熱帶、温帶、寒帶ハ全地球上ノ大區別ナリ之レノミニテハ植物生育ノ區域ヲ概見シ難シ實際ニ就キ細ニ植物帶ヲ分ツハ數

個ニ分タサルヲ得ス然レハ便利ノ爲メ我日本帝國ノ森林植物ヲ分ツテ左ノ五トス

第一 熱帶又榕樹帶

第二 亞熱帶又常綠闊葉樹帶又樟帶

第三 中温帶又落葉闊葉樹帶

其一 栗帶

其二 榲帶又樺帶

第四 中冷帶又白檜帶又唐檜帶

第五 冷帶又偃松帶

即チ第一圖ハ水平的植物帶ヲ示スモノニシテ緯度ノ北ニ進ムニ從ヒ前記五個ノ帶ノ相推移スルヲ現ハスモノナリ北緯二十一度邊ヨリ二十六度迄ハ熱帶(I)ニ屬シ二十六度ヨリ三十六度迄ハ亞熱帶(II)ニ屬シ三十六度ヨリ四十六度迄ハ中温帶(III)ニ屬シ四十六度ヨリ四十九度迄ハ栗帶(I)ニ屬シ



四十二度ヨリ四十度迄ハ檜帶(2)ニ屬シ四十九度ヨリ五十一度迄ハ冷帶(V)ニ屬ス

第二圖ハ鉛直的植物帶ヲ示スモノニシテ高山ニ登ルニ從ヒ植物帶ノ變異スル狀ヲ現ス然レモ斯ニ注意スヘキハ同ク高山ト雖モ其臺灣本洲北海道等其ノ緯度ノ關係ヨリシテ各帶ノ高サヲ異ニス例令ハ中温帶(III)ハ臺灣ニ在リテハ其上部界ハ壹萬五百尺許ナレモ九州ニテハ六千五百尺、四國ニテハ三千百尺、本州ニテハ三千尺ナルカ如シ

而シテ暖地ノ高キ所ニ生育スルモノハ寒地ノ低キ所ニ生育ス例令ハ檜(山毛櫸)ハ九州ニ在リテハ拔海五千四百尺本州ニ在リテハ拔海四千二百尺邊ノ高所ニアラサレハ生育セサレモ北海道ニ至ルキハ已ニ平地ニ在リテ生育スルヲ見ルナリ乃チ暖地ノ高處ハ寒地ノ平地ト氣候ヲ同スルヲ知ルヘキナリ第二圖中斜ナル線ヲ以テ現ハ

スモノハ正ニ此現象ヲ示スモノナリ

前陳ノ關係ヲ一覽スルカ爲メニ「植物帶表」ナルモノヲ掲ケタリ今其鉛直的植物帶高サノ限界ヲ見レバ植物帶ノ界線西南ヨリ東北ニ向ヒ傾斜スルノ狀ハ明ニ之ヲ知ルヲ得ヘシ今一々之ヲ詳論比較スルハ此小冊子ノ盡ス能ハサル所ナルヲ以テ之ヲ採摘シテ左ニ其大略ヲ示スベシ

(第一帶) 本帶ハ重ニ新領土臺灣ニ於テ之ヲ見ルモノニシテ調査未タ充分ナラス且ツ下部ノ何レノ點ニ盡クルヲ知ル能ハサルヲ以テ比較ヲ示シ難シ唯タ臺灣ニ在リテハ平地ハ本帶ノ全然占領スル所ニシテ尙拔海一千尺迄ハ本帶ニ屬スルカ如シ而シテ琉球ノ南端ニ在リテハ本帶ハ高サ五百尺許ノ所ニ至レリ

(第二帶) 臺灣ニ在リテハ拔海一千尺以上五千尺許ノ高所ニ居リ琉球ニ於テハ之ヲ見ル能ハサルカ如シ尙ホ九州ノ南端薩摩、大隅、



日向ニ在リテハ下部ハ七八百尺ヨリ起リ僅カニ北スレハ已ニ海岸ヨリ出ツ上部ハ隅、日兩州ノ界ナル霧島山等ニテハ三千七百尺ニ及フ豊、筑地方ニテハ二千一二百尺許ニ至テ絶エ藝、備、播等ニ至レハ又二千尺以下ニ下リ進ンテ勢、遠、駿等ノ諸州ニ至レハ上部界ハ一千五六百尺ニ低レ南東常陸國ニ至レハ僅カニ三百尺許ニシテ絶エ磐城ニ入レハ漸ク其跡ヲ絶ッ西北能登ノ北端ニ至ルモ亦絶ユ故ニ磐、能兩州以東北ニハ復タ此帶ヲ見ル能ハス試ニ隅、日南端ニ於ケル本帶上界部最高點ナル三千七百尺ヲ探テ他州ニ比較セハ帶線寒地ニ向テ傾斜スルヲ認ムヘシ即豊、筑地方ハ隅、日ヨリ低キコト一千六七百尺遠、駿等ノ地方ハ二千尺内外常州ニ至リテハ三千尺ノ低キニ及ヘリ

斯ニ注意スヘキコトアリ本帶ハ水平的ニ在リテハ北緯三十六度ニ至レル本州ニ在テハ唯タ黑潮ノ影響ヲ蒙ル太平洋ニ面スル部分ニ

シテ乃チ犬吠岬ヨリ東京、富士山ノ頂嶺、京都、山陰、山陽ノ界ヲ相連結シテ馬關ニ至ル一線以南ハ本帶ニ屬スレル其ノ以北ハ第一、三帶ニ屬スルモノトス第一圖點線ヲ以テ現ハスモノ之レナリ

〔第二帶〕 本帶ハ日本全國ノ殆ント四分ノ三ヲ領シ其廣幅他帶ニ冠絶ス本帶ヲ分ツテ二トナス 一ハ南部温暖ノ地ニシテ之ヲ栗帶ト名ケ 二ハ北部寒冷ノ域ニシテ之ヲ樅帶或ハ樺帶ト稱ス今概括シテ之ヲ述フ

本帶ハ臺灣ニ在リテハ拔海五千尺乃至壹萬五百尺許ノ間存在スヘキ理想ナレル予カ敬信スル林學士ドクトル本多靜六君ハ臺灣ニハ本帶即チ落葉闊葉樹帶ナキコトヲ報セリ同君ハ明治二十九年十月官命ニ依テ臺灣森ヲ調査センカ爲メ日本第一ノ新高山ナル玉山ヲ探檢セラレ其談話ハ載セテ大日本山林會報第百六十九號（三十年一月）ニ在リ其一節ヲ錄シ以テ之ヲ明ニス



(前略)六千尺迄ハ常綠闊葉樹帶ニシテ其以上ハ直ニ針葉樹林  
 トナル勿論其間ニ「ハンノキ」「クルミ」「モミヂ」等ノ混生セサ  
 ルニアラサルモ是等ハ多クハ河邊若クハ天災地滑等ニヨリテ  
 一回禿地トナリタル跡地ニ生セシカ如ク且ツ針葉樹林中高ク  
 迄下木トシテ無數ノ常綠闊葉樹ノ混生スルヲ見ルノミナラス  
 「ハンノキ」ノ如キハ十一月末ニ新ニ新葉ヲ生シ春ノ如キ有様  
 ヲナスヲ見レハ少クトモ玉山并ニ玉山以南ニテハ内地ノ如ク  
 「ブナ」類ノ支配スル落葉闊葉樹帶ハ無キモノト云フヘシ蓋シ  
 回歸線内ニテハ四季變化殆ントナク高地ノ寒冷トナルハ四季  
 共ニ寒冷トナルモノニシテ内地ノ如ク夏温カニシテ冬寒キ區  
 域ニ適スル「ブナ」類ヲ生セサル亦理ナキニアラサルヘシ  
 予ハ暫ク此說ニ從テ臺灣ニハ本帶ナキモノトス  
 本帶下部ハ即チ前ノ第二帶ノ上部界ナリ其上部ノ界ハ九州、山陰、

山陽兩道及畿内ニ於テハ上帶(第四帶)ヲ得ヘキ高山ナキヲ以テ之  
 ヲ認ムルヲ得ス四國豫州ニテハ六千尺、阿州ニテハ五千八百尺ナ  
 リ進ンテ遠、駿地方ニ至レハ五千六百尺乃至五千八百尺ナリ甲、  
 信兩州ニテハ又低シテ五千尺許トナリ奥羽地方ニ至レハ更ニ低シ  
 テ四千七百尺或ハ三千五百尺トナリ本州ノ北端陸奥ニ至レハ終ニ  
 三千二百尺ト爲ル試ニ豫州ノ六千尺ヲ取テ他州ニ比較スレハ阿、  
 遠、駿ハ豫州ヨリ低キ一、二百尺乃至四百尺、甲、信兩州ハ一千尺  
 許、奥羽地方ニ至レハ一千三百尺或ハ二千五百尺、陸奥ニ至レハ  
 更ニ低キ一、二千八百尺ニシテ殆ント豫州ノ半ニ過キス  
 (第四帶) 臺灣ニ在テハ未タ詳ナラサレモ玉山ノ頂部ニハ明ニ本  
 帶ヲ存スルカ如シ而シテ本帶ハ琉球、九州、山陰、山陽、畿内地  
 方ニハ之ヲ欠除ス四國ノ阿、豫兩州ニハ之アレモ上部ノ界ヲ認ム  
 ル能ハサルヲ以テ比較スルヲ得ス駿州ニテハ其上部界ハ八千三百



尺、武州及野州、上州ハ七千九百尺或ハ七千四百尺、岩代ハ六千四百尺、陸中羽後ハ五千三百尺或ハ五千二百尺ニシテ北端ナル陸奥ハ四千八百尺ナリ進ンテ北海道ニ至レハ僅カニ三千尺許ナリ試ニ駿州ノ高度ヲ探テ之ヲ他州ニ比較セハ武、野、上ハ駿ヨリ低キ一約四百尺乃至九百尺、岩代ハ一千九百尺、陸中、羽後、ハ三千尺乃至三千百尺、陸奥ハ三千五百尺ニシテ進ンテ北海道ニ至レハ低キ一五千三百尺ニシテ殆ント駿州ノ三分ノ一ニ達セントス

〔第五帶〕 本帶ノ下部界ハ第四帶ノ上部界ナリ但シ其上部界ヲ認ムル能ハサルヲ以テ比較スルヲ得ス唯タ本州ニテハ八千三百尺ヨリ一萬尺ニ至ルヲ本帶ノ廣幅トスレハ之レ唯タ富士山ニ於テ見ルノミニシテ真正ノ上部界ナルヤ否ヤ斷定シ難シ北海道ニ於テハ三千尺以上ニ本帶ヲ認ムレハ其上部界ハ確知シ難シ

斯ク論述シタリト雖凡氣候ノ寒暖空氣ノ乾濕ハ植物ノ生育ニ關

係スルノ最大ナルモノニシテ植物帶ノ如キ亦皆此關係ニ由テ消長ヲ爲スモノナリ夫レ氣候ノ寒暖空氣ノ乾濕ハ潮流（黒潮又黒瀨川ト稱シ熱帶ヨリ來ル暖流及ヒ寒帶地方ヨリ來ル寒流アリテ大ニ本部ノ氣候ヲ變ス）定風、雪量及山岳ノ位置、方向等ニ因リ常ニ一定ノ法則ヲ追フ可ラサルモノアリ故ニ各地各州ニ於テ多少ノ差異ハ到底免レサル所ロナリト雖凡掲クル所ノ植物帶表蓋シ近似ノモノタルハ確信スル所ロナリ請フ日本天下ノ諸君幸ニ是正スル所ロアラハ予ノ喜フ所ロナリ

植物帶表ニ就キ一言シ置クヘシ「植物帶名」トハ第一ヨリ第五ニ至ル帶ノ名稱ニシテ次欄「水平的植物帶北緯度ノ限界」ト云フハ即チ北緯何度ヨリ何度迄ヲ熱帶トシ北緯何度ヨリ何度迄ヲ中温帶トスルヲ現ス而シテ第三欄「鉛直的植物帶高サノ限界」トハ各州ニ於ケル各帶ノ高度ヲ示スモノニシテ總テ海面ヲ基トシ尺ヲ以テ之ヲ

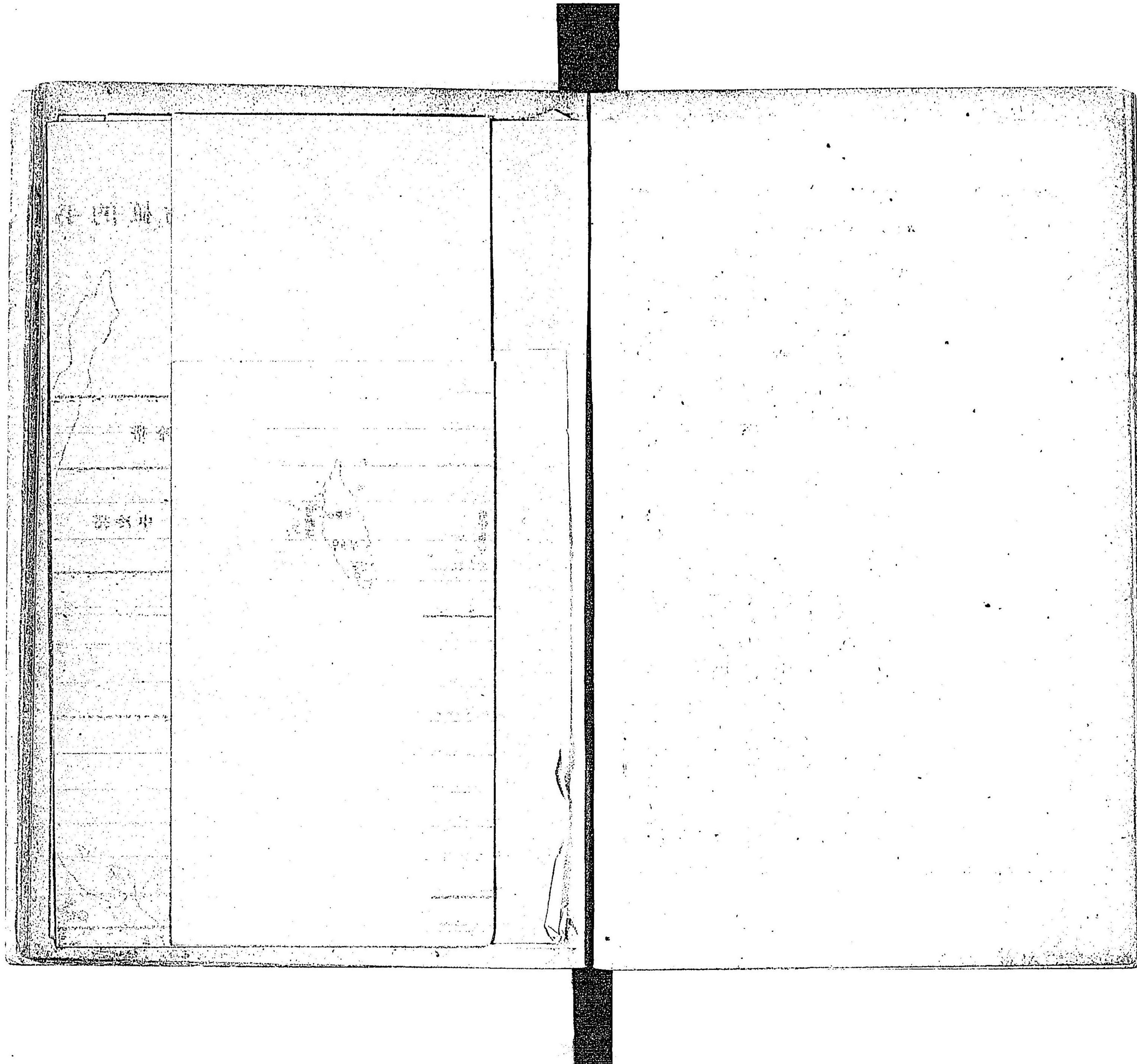


現ハス「下」トアルハ其帶ノ下部界ニシテ「上」トアルハ上部界ナリ而シテ「中央」トアルハ其帶ノ中央迄ニ至ル尺度ナリ蓋シ植物帶ナルモノハ斯ク數學ニ現ハスルハ明ナルカ如クナレモ實地ニ臨ンテハ上部界下部界ヲ定ムルコト甚タ容易ナラス何ントナレハ其帶ノ上部ハ次ノ上帶ノ下部ナルヲ以テ兩帶ノ樹木相混淆シテ之ヲ分析スルコト難シ例令ハ椴帶中ノ椴、山毛櫸ハ漸々稀粗トナリ將ニ盡ントスルニ當リ上ナル中冷帶ノ椴、米梅等モ亦稀レニ現ハレルモノナリ然レモ該表掲クル中央ノ高サノ場所ハ殆ント斯ル混雜ヲ見ルコト無ク純然タル其帶固有ノ樹種ニシテ疑團ヲ生スル憂ナシトス之レ予カ本術ヲ設クル所以ナリトス

諸君本表ヲ携ヘ鞋ニ脚絆曉氣ヲ呼吸シ雄氣ヲ鼓舞シテ所在ノ高山ニ攀登ヲ試ムヘシ例令ハ本州ニ於テハ携フル所ノ「バロメーター」カ三百尺ヲ示スルハ諸君ハ已ニ亞熱帶ノ中央ニ至レリ登テ千八百

尺ニ至ラハ身ハ已ニ中温帶ノ栗帶ニ在リ更ニ進ンテ四千二百尺邊ニ至ルルハ諸君ノ足ハ椴帶ノ地ヲ踏メルナリ之ヨリ進ンテ中冷帶ニ至ル亦容易ナリトス更ニ又反對ニ植物帶ヲ活用スルルハ諸君カ高山ニ登リテ栗樹ノ繁茂スル處ニ至ルルハ問ハスシテ諸君ハ拔海千八百尺邊ノ高處ニ登レルナリ進ンテ椴、山毛櫸ノ繁生スル處ニ至レハ已ニ拔海四千二百尺邊ノ高處ニ立レルナリ更ニ進ンテ唐檜、白檜ノ生茂スル處ニ至ルルハ拔海六千八百尺邊ノ處ニ在ルコトヲ推知スルヲ得其他九州、四國、北海道ニ於ケルモ同一ナリ敢テ贅セス

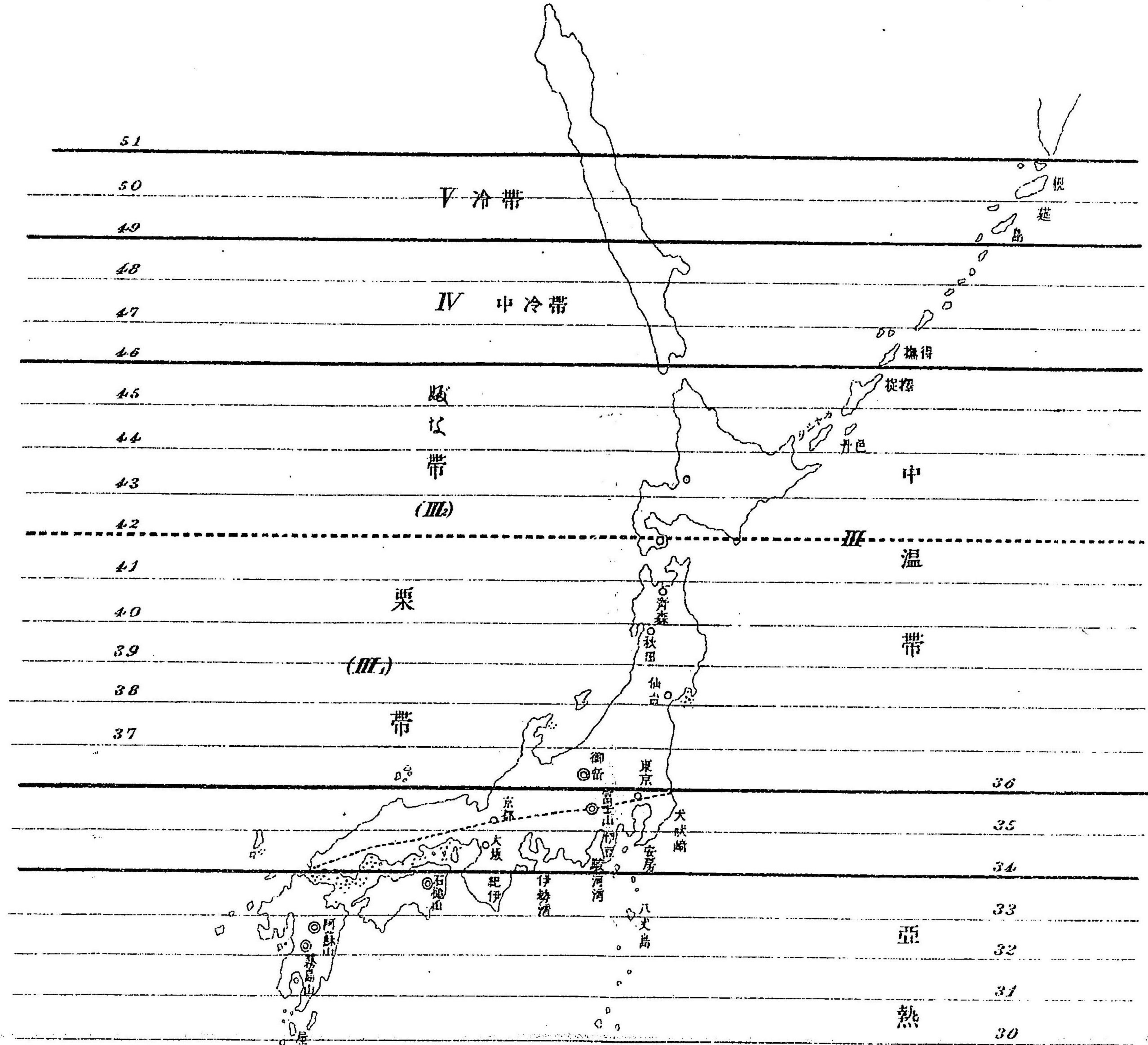




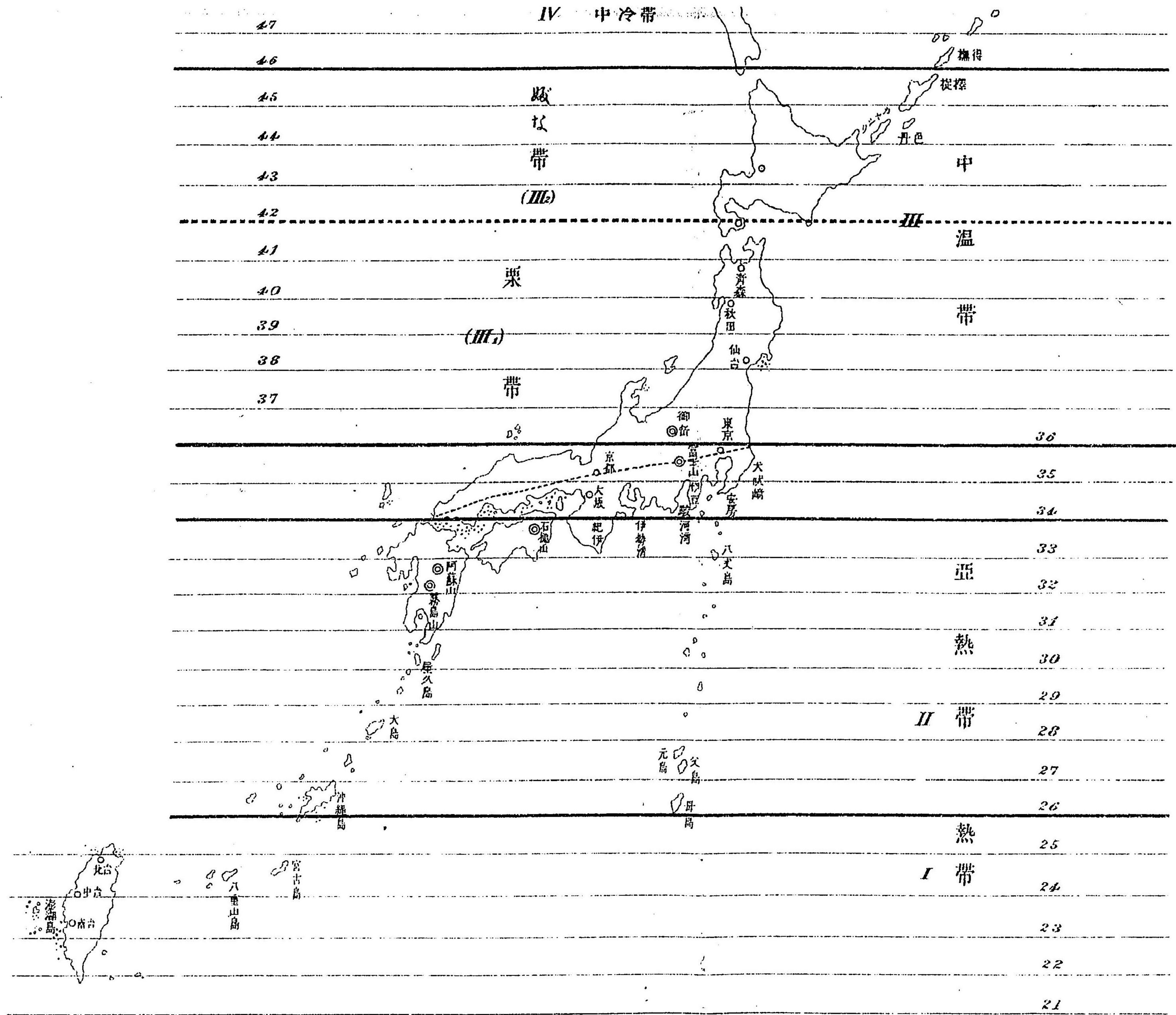


# 帶物植的平水

圖 一 第



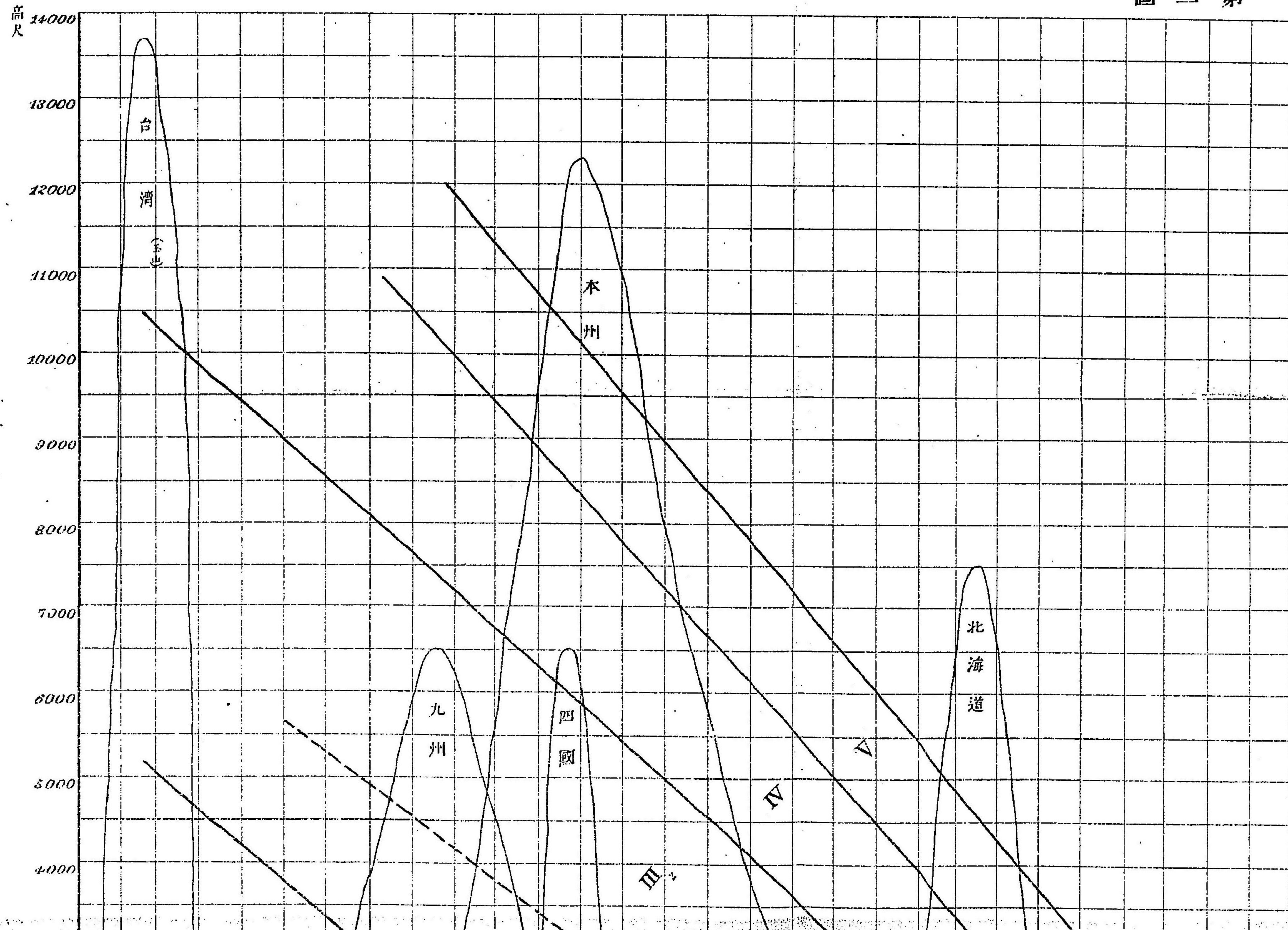




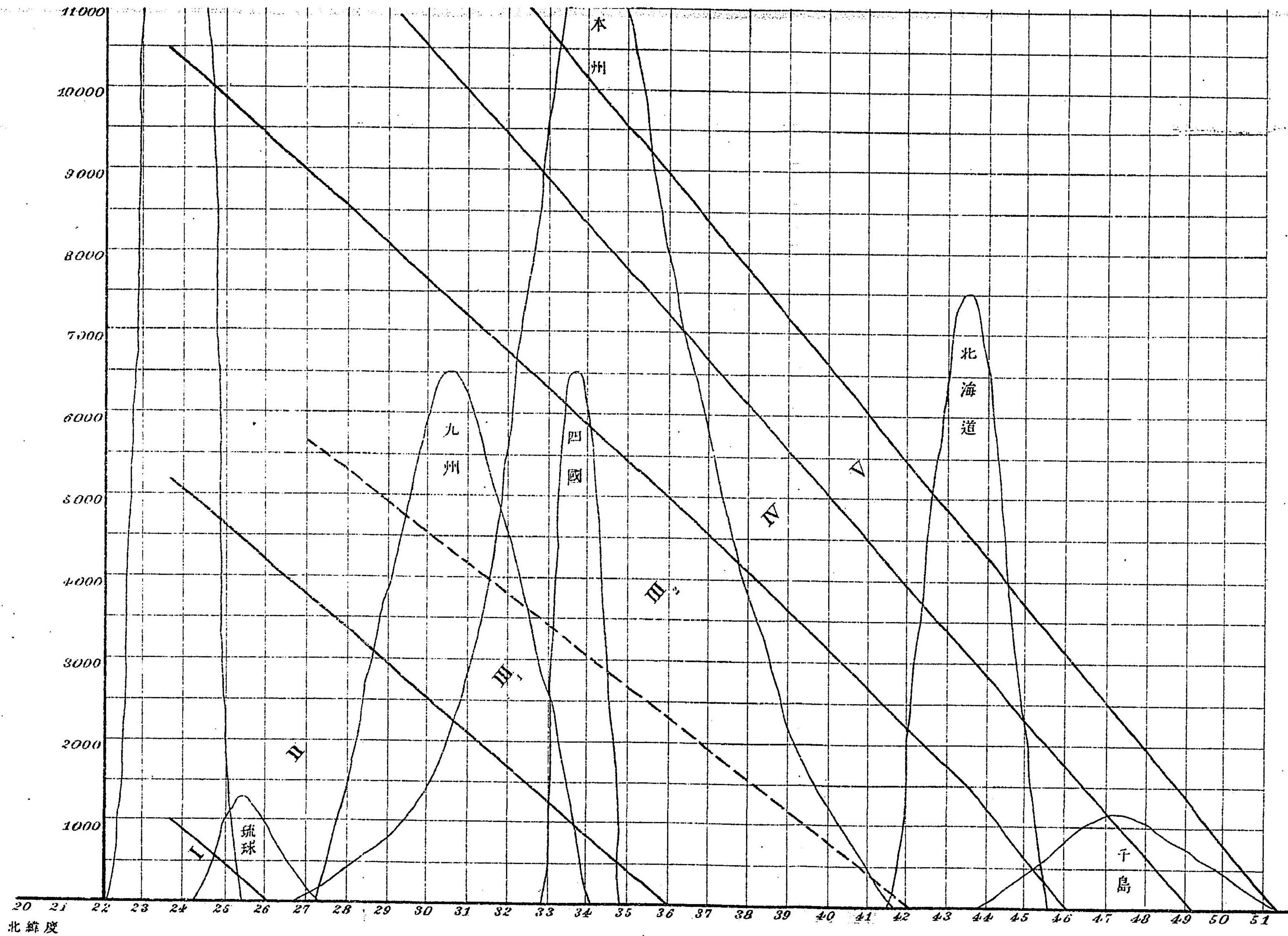


帶物植林森本日

圖二第



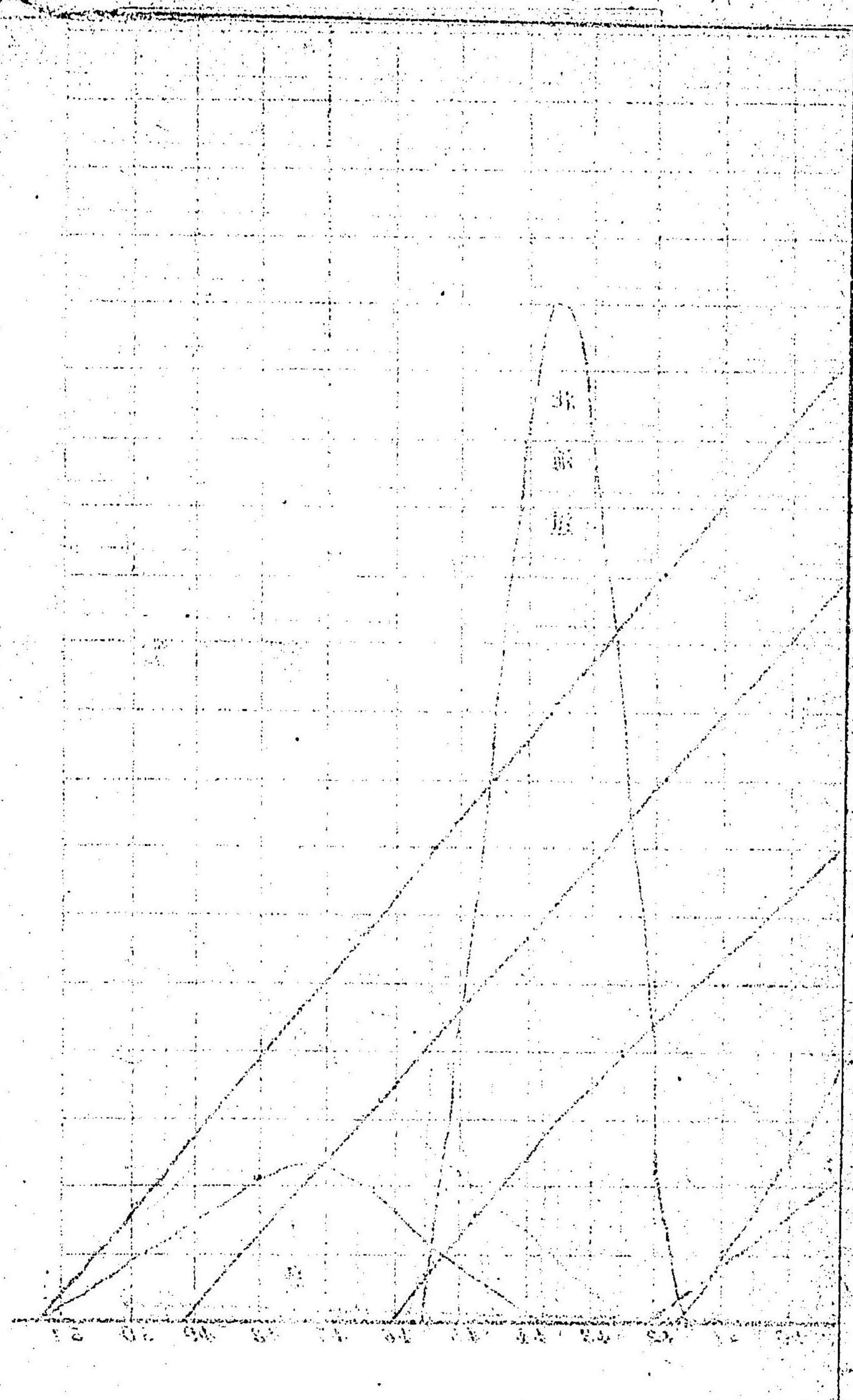






植 的 直 鉛							度物水 帶平 限北均 界緯植		植物帶名
九	球		琉	灣		臺	至	自	
下	上	央中	下	上	央中	下			
	五〇〇	一五〇	〇	一〇〇〇	五〇〇	〇	二六	二一	熱帶 I
七〇〇		?		五〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	三六	二六	亞熱帶 II
一三〇〇				一〇,五〇〇	七,五〇〇	五,〇〇〇	四六	三六	中溫帶 III
一三〇〇					?		四二	三六	栗帶 III <sub>1</sub>
四三〇〇					?		四六	四二	栲帶 III <sub>2</sub>
					?		四九	四六	中冷帶 IV
					?		五一	四九	冷帶 V

日本森林植物帶表





(尺) 界 限 度 高 帶 物

道 海 北			州 本			國 四			州	
上	央中	下	上	央中	下	上	央中	下	上	央中
										?
			六〇〇	三〇〇	〇	一〇〇〇	五〇〇	〇	一三〇〇	一五〇〇
一五〇〇	七五〇	〇	五四〇〇	三〇〇〇	六〇〇	六〇〇〇	三三〇〇	一〇〇〇	六五〇〇	四四〇〇
			三〇〇〇	一八〇〇	六〇〇	三三〇〇	一〇五〇	一〇〇〇	四三〇〇	三三〇〇
			五四〇〇	四二〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	四三〇〇	三三〇〇	六五〇〇	五四〇〇
			八三〇〇	六八五〇	五四〇〇	六五〇〇	六二五〇	六〇〇〇		
			一〇〇〇〇	九一五〇	八三〇〇					

森林植物帯定在樹種

森林植物帯ヲ調査セント欲セハ先ツ五個ノ帯中ニ在ル固有ノ樹種ヲ知ラサル可ラス今左ニ其主ナルモノヲ示ス

第一熱帯又ハ榕樹帯

- ア。カ。ウ。ヤ
- シ。ビ。ロ。ウ。バ。セ。ウ
- ク。ガ。ヅ。マ。ル
- ア。ナ。ナ。ス。ツ

第二亞熱帯又常緑潤葉樹帯又ハ樟帯

- ク。ス。ユ。ロ。ソ。テ。ツ。ナ
- ハ。マ。ビ。ハ。イ。ヌ。ビ。ハ。イ
- マ。キ。ク。ロ。マ。ツ。イ。チ。ヒ。ガ。シ。ウ。バ。メ。ガ。シ。マ。テ。バ。シ。ヒ。ア。カ。ガ。シ
- シ。ラ。ガ。シ。ヒ。ノ。キ。ノ。プ。ノ。キ。タ。ラ。エ。フ。モ。チ。ノ。キ。ヒ。メ。ユ。ヅ。リ。ハ
- ト。ベ。ラ。ヤ。ブ。ニ。ク。ケ。イ。シ。ロ。ダ。モ。ツ。バ。キ。カ。キ
- モ。ク。コ。ク。子。ズ。ミ。モ。チ。ヒ。ヒ。ラ。キ。エ。ノ。キ。ム。ク。ノ。キ。カ。ナ。メ。モ。チ







シタル實況ヲ解得スヘシ故ニ常ニ整齊セル「バロメーター」ヲ携帶シテ異類ノ樹種ヲ觀ル毎ニ其初マル所ノ高サ盡キル所ノ高サヲ記錄シ其得タル材料ヲ一紙ノ縱横罫紙(第一圖ノ如キモノ)ニ移載シテ綜覽スルキハ自然ニ各帶間ニ分界スル狀ヲ了解スベシ諸君請フ百聞ハ一見ニ若カス之ヲ實地ニ試ムベシ蓋シ難事ニ非ラサルナリ否ナ寧ロ愉快ナルノ之ニ過キルモノアラサルベシ矣

### 森林眼終

### 附錄

## 森林學教授法一斑



今ヤ我帝國ハ駭々乎トシテ長足ノ進歩ヲナシ文明ノ利器一トシテ  
具備セサルナシ位置世界ノ東隅ニ位スト雖トモ優カニ歐米ノ文明  
國ト比肩スルニ餘アリ況ンヤ今回ノ戰勝ニ於テオヤ一倍我國光ヲ  
閃輝セリ新領土タル臺灣ノ一島ハ地積狹少ナリト雖トモ其我帝國  
ニ與フル鴻益幾何ソヤ軍機ニ貿易ニ技藝ニ學術ニ至大至重ノ利便  
ヲ得タルニ非スヤ他ハ少焉ク措キ之ヲ森林的ニ觀察セハ從來我國  
ハ蜿蜒トシテ南方ヨリ北方ニ跨リ千種萬様ノ樹木ヲ包有シ實ニ良  
森林國タリシ今ヤ又臺灣ヲ得益以テ森林國ノ實ヲ完フセリ凡ソ宇  
内ニ國ヲナスモノニシテ極熱ノ地ヨリ極寒ノ地ヲ包有スルモノ我  
帝國ヲ措テ他ニ幾何カアル世界ニ生存セル無數ノ樹木ハ盡ク聚テ  
而シテ我一帝國ニ栽植シタリ實ニ帝國ハ世界ノ一大美園ニシテ又  
獨特無比ノ森林國ナリトス余ハ竊ニ思フ我帝國ノ學術トシテ當ニ  
勃興スヘキモノハ森林學ナリ何トナレハ我國ハ地勢上絶對的森林



地ナル山嶽又ハ絶對的森林トスヘキ土地多キヲ占ルヲ以テナリ森林學ハ他ノ科學ニ後レテ而シテ生レ日月ヲ閱スル尙ホ淺シト雖トモ早晚森林學ハ帝國ノ學術トシテ斯學ノ眞粹ハ我帝國ヨリ發揚セサル可ラス余ハ常ニ此管見ヲ抱懷シ我國ノ公立私立ヲ問ハス總テ兒童ノ教育ニ森林學ノ一科ヲ用ヒンコトヲ希望セリ然レトモ事ハ漸ヲ以テ進ムヲ貴トス故ニ先此目的ノ一端トシテ師範學校ニ森林科ヲ設ケンコトヲ欲シタリキ然ルニ此事タルヤ國家教育上至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ精考詳案ノ後ニ非サレハ一朝一夕ニ愚案ヲ吐露スヘカラスト雖トモ曾テ牧野文部次官ノ樹裁日一言ハ全國教育家ヲ聳動シ余カ平素ノ希望ハ不知不識ノ間教育社會ニ採擇セラレントス實ニ余ハ斯學ノ前途ニ於テ轉々欣喜ニ堪ヘサルナリ想フニ師範學校ハ國家文明ノ光彩ヲ發輝スル他山ノ石ヲ產出スヘキ重任ヲ有スル人物ヲ養生スル所ナリ彼等異日業成リ學卒ヘテ徒弟ヲ薰

陶スルニ當テヤ其學術ノ如何ハ無邪氣ナル數萬ノ兒童ヲシテ方向ヲ左右セシムルモノナリ殊ニ此新學科タル森林學ノ如キハ尙一段ノ注意ヲ以テ教授スルヲ要スルナリ之カ充分ノ教授ヲナサンニハ緻密ニ觀察ヲ下シ我國兒童ノ嗜好、性質發達ノ如何ヲ鑑ミ之カ教育ノ方針ヲ考案セサル可ラス彼ノ獨逸國ノ如キハ今ヤ三尺ノ童子ト雖トモ花卉樹木ノ愛スヘキヲ知リ一枝ヲ折ラス扁葉ヲ摘マス嬉々トシテ賞翫スル狀ハ已ニ彼等小々ノ腦底ニ於テ森林愛護ノ念ヲ感染セリ之ニ反シテ我邦兒童ヲ見ヨ時ニ或ハ棍棒ヲ舉ケテ樹幹ヲ打擲シ枝葉ヲ挫折ス彼等ノ父兄ハ却テ之ヲ勇敢ノ舉動トナシテ而シテ怪マス况ンヤ無智ノ兒童オヤ日常ノ食物ハ何ニ依テ煮沸セラハ乎四時ノ寒暑風雨ヲ防クモノハ何ソヤ混々トシテ晝夜ヲ絶ヘサル水ハ如何ニシテ生スル乎是等蒼溟ノ間ニ現在スル森羅萬象ヲ觀來リ觀去ルトキハ蓋シ森林ノ德澤ニ依ラサルモノ幾何カアル苟



クモ國民タルモノ森林愛護ノ念ナカル可ラス殊ニ我神洲ノ臣民ニ  
 ハ日本ハ森林國ナリテフ觀念ヲ有セシメサル可ラス是等ノ觀念思  
 想ヲ注入シ誘導スルハ抑モ吾輩森林學ニ志スモノ、當サニ務ムヘ  
 キ所ナリト雖トモ亦國家教育ニ從事スル諸士ノ助力誘發ニ藉ラサ  
 ル可カラス父兄ノ愚ヲ矯メ兒童ノ無智ヲ啓發シ以テ森林愛護ノ心  
 ヲ惹起セサル可ラス余ハ敢テ自ラ剪劣ヲ顧ミルニ遑ナシ聊カ平常  
 抱負スル所ノ鄙見ヲ述ヘ以テ世ノ識者ニ問フ請フ余ノ淺學ヲ答ム  
 ル勿レ

林學士 中牟田五郎謹述

森林學教授法一斑

森林學教授方法ヲ説述センニハ先ツ森林學ノ何者タルヲ略陳スル  
 ハ最モ須要ト信スルヲ以テ今之ヲ左ニ述フ  
 森林學ハ大別シテ豫科ト本科トス豫科ハ森林學ノ大本タル本科ヲ  
 學習スルニ必要ナル普通學ヲ教ユルモノニシテ蓋シ其細別ヲ示セ  
 ハ左ノ如シ

第一 豫科

一 數學

甲 純粹數學

(イ) 算數學

(ロ) 代數學



クモ國民タルモノ森林愛護ノ念ナカル可ラス殊ニ我神洲ノ臣民ニ  
 ハ日本ハ森林國ナリテフ觀念ヲ有セシメサル可ラス是等ノ觀念思  
 想ヲ注入シ誘導スルハ抑モ吾輩森林學ニ志スモノ、當サニ務ムヘ  
 キ所ナリト雖トモ亦國家教育ニ從事スル諸士ノ助力誘發ニ藉ラサ  
 ル可カラス父兄ノ愚ヲ矯メ兒童ノ無智ヲ啓發シ以テ森林愛護ノ心  
 ヲ惹起セサル可ラス余ハ敢テ自ラ剪劣ヲ顧ミルニ遑ナシ聊カ平常  
 抱負スル所ノ鄙見ヲ述ヘ以テ世ノ識者ニ問フ請フ余ノ淺學ヲ答ム  
 ル勿レ

林學士 中牟田五郎謹述

森林學教授法一斑

森林學教授方法ヲ說述センニハ先ツ森林學ノ何者タルヲ略陳スル  
 ハ最モ須要ト信スルヲ以テ今之ヲ左ニ述フ  
 森林學ハ大別シテ豫科ト本科トス豫科ハ森林學ノ大本タル本科ヲ  
 學習スルニ必要ナル普通學ヲ教ユルモノニシテ蓋シ其細別ヲ示セ  
 ハ左ノ如シ

第一 豫科

一 數學

甲 純粹數學

(イ) 算數學

(ロ) 代數學



- (ハ) 平面幾何學
- (ニ) 立體幾何學
- (ホ) 三角術
- (ヘ) 解折幾何學
- (ト) 微分學
- (チ) 積分學
- 乙 應用數學
  - (リ) 平面測量術
  - (ヌ) 高低測量術
- 二 物理學
- 三 化學
- 四 金石學
- 五 地質及土壤學

本科ハ吾人通常森林學ト稱スルモノニシテ分レテ三トナル曰ク森林生產學曰ク森林施業學曰ク森林政治學之レナリ是ヲ森林學ノ三大綱ト稱ス

- 六 動物學
- 七 植物學
- 八 國民經濟學
- 九 財政學
- 十 普通法律學
- 第二 本科
  - 一 森林生產學
    - (イ) 造林學
    - (ロ) 林地學
    - (ハ) 森林植物學



- (ニ) 森林保護學
- (ホ) 森林利用學
- 附副產物製造法
- 二 森林施業學
  - (イ) 林價算法
  - (ロ) 較利學
  - (ハ) 測樹學
  - (ニ) 森林經理學
- 三 森林政治學
  - (イ) 森林管理法
  - (ロ) 森林行政學
  - (ハ) 森林法律學
  - (ニ) 森林統計學

(ホ) 森林歷史

豫科トシテ示ス所ノ諸學科ハ輒近泰西ノ科學ヲ學習セントスルモノニハ常ニ必要ナルハ固ヨリ多辯ヲ要セスシテ明カナリ森林學モ所謂一ノ科學ナリ是等普通學ノ須要ナル豈吾輩ノ喋々ヲ俟ンヤ唯其本科トシテ示シタル諸學科ニ就テハ蓋シ一言ノ略解ヲ付スルノ要アルヲ感ス

第一森林生產學 トハ森林ノ產物ヲ出生スルニ付テ必要ナル學術ヲ習得スルモノナリ然リ果實ハ熟シテ尙ホ母樹ニ在リ之ヲ採收シ之ヲ播種シ之ヲ撫育シ之ヲ培養ス一個ノ微少ナル種子ヲシテ純然タル林木トナスノ道ヲ研究スルハ之レ造林學ノ務メナリ此務ヲ全フシ此目的ヲ達セント欲セハ其植栽セントスル土地ノ氣候、風土、地味、地勢ノ如何ヲ知ラサル可ラス林學ノ依テ必要ナル所以ナリ尙ホ此等ノ事項ヲ研究スルニハ常ニ植物ノ種類性質等ヲ知悉セ



サハヘカラス森林植物學ノ存スル所以ナリ而シテ天ハ常ニ吾人ノ  
目的ヲシテ蹉跌セシメントシ或ハ蟄蟲トナリテ穉苗ノ根ヲ喰ヒ或  
ハ飛蟲トナリテ樹木ノ枝葉ヲ嚙ム或ハ時ニ狡猾ナル害獸トナリテ  
春芽ヲ喫ミ或ハ慧智ナル雀鴉トナリテ苗圃ヲ荒ス或ハ甚シキニ至  
リテハ微妙ナル黴菌トナリ或ハ無用ノ寄生木トナリ吾人ノ最モ撫  
育セル苗、最モ培養セル樹ヲシテ枯槁セシメントスルモノナリ天  
ノ暴舉モ亦慘哉吾人ハ此暴舉ニ反抗シテ之ヲ防止シ之ヲ平癒スル  
ノ策ヲ講セサルヘカラス則チ森林保護學ノ存スル所以ナリ  
年ヲ積ミ期ヲ重子吾人カ刻苦精勵シ得タル樹木ハ伐テ以テ社會幾  
千萬ノ生民ニ供給シ以テ彼等ノ日常ノ需要ニ應セサルヘカラス之カ  
伐採法ハ如何之カ運搬法ハ如何之カ製作法ハ如何以テ森林利用學  
ノ存スル所ナリ或ハ椎茸ヲ製シ樟腦ヲ製シ松油香、木醋、木精  
ヲ副生シ纖維ヲ得テ以テ製紙ノ原料トナス副產物製造法ノ存スル

所以ナリ

## 第二森林施業學

トハ樹木ヲ生産利用スル間ニ於テ如何ナル事業  
方法ヲ施スヘキヤヲ講究スルモノニシテ素ト林業ハ經濟的ニ業ヲ  
施サント欲スルモノナリ從テ此地ニ此種ノ樹林ヲ造ルニハ若干ノ  
費用ヲ要スル乎而シテ遂ニ後年ニ至リテ利得スルモノ若干ナル乎  
最少ノ出費ヲ以テ最大ノ利益ヲ得ントスルハ吾人森林家ノ最大目  
的タリ然リ而シテ林業元資ノ價格ヲ見出シ及ヒ之カ生産スル利息  
ノ多寡ヲ計算シ以テ賣買讓與ノ是非ヲ決シ或ハ事業ノ得失ヲ指示  
スル等總テ森林ノ價格利純ヲ算定スルハ林價算法ノ務メナリトス  
或ハ又此土地ハ林地トナスノ得策ナルカ或ハ農地トナスノ得策ナ  
ルカ將タ林地トナスハ假令得策ナルモ之ヲ杉林トスルノ是カ松林  
トスルノ非カ扁柏林トスルノ利カ山毛櫸林トスルノ損ナルカ等ヲ  
比較シテ以テ其土地ヲ可及的生產的ニ使用セシメントスルハ較利



學ノ任ナリトス而シテ既ニ成ル所ノ樹林ハ如何ナル方法ニヨリ之ヲ經營スヘキカ此樹林ハ年々若干ノ材積ヲ伐採シ能フヘキカ或ハ此年ニ伐採スベキカ彼年ニ伐採スヘキカ常ニ經濟的ノ腦髓ヲ以テ不易ノ確案ヲ組成シ以テ森林ヲシテ永遠保續的ニ存在セシメントスルハ森林經理學ノ目的トスル所ナリ經理學ハ森林學ノ主眼タリ頭領タリ林學者カ孜々トシテ螢雪ノ苦ヲ積ミ鑿壁ノ勞ヲ厭ハス奮勵スルモノハ唯經理ノ正案ヲ得ント欲スルニ在ルノミ測樹學ハ經理學ノ方案目的ヲ實行スルニ當リ之カ隨使ニ從ヒ之カ指揮ニ基ツキ樹林ノ材積ヲ算定シ或ハ樹齡ヲ鑑定シ或ハ生長ノ經行ヲ察スル等ヲ以テ目的トス

第三森林政治學 トハ國家ハ如何ニシテ森林ヲ經營スヘキカヲ講究スルモノナリ其經營ノ目的ヲ達スルニハ如何ノ組織機關ヲ適當トスルカ林區制度ニ依ルヘキカ地方制度ニ任スヘキカ或ハ如何ナ

ル規則、章程、條例ヲ發シテ斯ノ如キ點ヲ制限シ彼カ如キ點ヲ舒暢スル等ハ別レテ森林管理法トナリ森林行政學トナル或ハ不逞ノ徒ヲ懲罰シテ森林ヲ永久ニ安固ナラシメントスルニハ如何ナル法律命令ヲ發布スヘキカヲ研究スルハ森林法律學ノ任務ナリトス或ハ過去林業ノ功程ヲ綜纒シテ效果ヲ考竅シ以テ將來ノ方針ヲ畫策シ益々事業ノ進歩ニ便益ヲ與フルモノハ森林統計法ノ務メナリ或ハ其國古昔ノ森林ハ如何ニシテ成立セルカ如何ナル人種ノ所有ナリシカ或ハ如何ナル制度ノ下ニ支配セラレシカ故ヲ温子テ新ヲ知リ古ヲ考ヘテ今ヲ察シ習慣ニ隨ヒ舊法ヲ鑑ミ以テ將來林業ノ發達ヲ謀ルノ資料ヲ與フルモノハ森林歴史ナリトス

上文略說スル所ニ因テ森林學ハ果シテ如何ナルモノナルカノ大要ヲ知悉スルコトヲ得ヘシ之カ妙味玄旨ノ蘊奧ニ至リテハ豈ニ能ク且夕ニシテ談スヘケンヤ夫レ林業ノ主旨トスル所ハ籌ヲ今日ニ回



ラシテ勝ヲ數十年ノ後ニ制スルモノナリ其志氣高遠ニシテ考慮郭大ナルモノニ非スンハ以テ森林學ヲ修ムヘカラス今日種子ヲ播キテ幾多ノ星霜ヲ經、雨露ヲ受ケ天地自然ノ化育ト人爲ノ精妙ヲ得近クハ十年遠クハ百數年費サスンハ以テ棟梁ノ材、薪炭ノ料ヲ得ヘカラス目前ノ銖利ニ迷フモノ蓋シ林業家タルノ價值ナキモノナリ農業ノ如キハ敗ヲ取ルモ其敗ハ一年ニ止マリ明年直ニ勝ヲ制スルコト得ヘシト雖トモ林業ハ今日投スル所ノ資本ハ數十年ノ後ニアラサレハ分利ヲ生セス若シ夫レ一朝敗ヲ取ランカ之ヲ挽回スルコト能ハス多額ノ資本ト無數ノ勞力トハ全然之ヲ烏有ニ歸セシメサルヘカラス林業家ノ遠慮深謀ナカルヘカラサル豈ニ復タ嘸々スルヲ要センヤ

斯ノ如ク森林學ハ其目的高尚ニシテ而シテ其習得スヘキ學科モ亦甚タ浩瀚ナリ從テ之ヲ初學者ニ教授スル敢テ難事ニ非ト雖凡亦易

々ノ業ニ非ス殊ニ從來兒童ノ教訓ニ當ル師範學校生ニ之ヲ教授スルニハ爰ニ一段ノ熟考ヲ費サ、ル可カラス余ハ窃ニ思フ師範學校生カ他日自ラ兒童ニ授クルニ當ツテ湧起スル觀念ハ矢張自己自身カ之ヲ受クル時ノ觀念ニ等シカラシメサル可ラス則チ深ク自己ノ腦裡ニ感激シタルコトハ終生之ヲ忘ル、コナク其暗々ノ間ニ包有スル所ノモノハ發シテ兒童ノ師範トナルニ至ルヘケレハナリ抑モ森林學ナルモノハ決シテ一樹一木ノ施業ヲ目的トスルモノニアラス然レトモ木集リテ林ヲナシ林合シテ森ヲナス森林愛護ノ念ヲ奮起セシメント欲セハ一樹一木ノ愛護心ヨリ誘起セシムルハ最も其法ヲ得タルモノナリ古聖言ヘルアリ曰ク欲治其國先齊其家欲齊其家先修其身ト時移リ星換ルト雖トモ蓋シ事物ノ理當サニ然ルヘキナリ余今森林學ヲ教授センニハ此精神ヲ以テスル最モ良策ト信ス若シ夫レ陽春駘蕩池塘ノ草ハ離々トシテ青帝ノ德ヲ懷ヒ嫩芽



蒼々百鳥啾々燃へント欲スルノ紅花、滴ラント欲スルノ綠葉ト相映シ熙々トシテ天真ノ美ヲ感スル時ニ際シ師自ラ弟子ヲ率ヒテ三々五々郊外ニ散策ヲ試ミ一花ヲ採リ一枝ヲ折リ此花ハ如何ニシテ成リシヤ翻々タル此花瓣、纖々タル其花糸如何ニ精巧ナル哉其花粉、如何ニ注意ナル哉、其萼或ハ槎枒タル其枝、圓滿ナル其葉或ハ拮屈敖牙ナル其縁邊嗚呼實ニ此細緻ナル花、靈妙ナル枝ハ如何ニシテ成立セシソ細カニ之ヲ説明シ詳カニ之ヲ解析シ此花ヤ枝ハ唯此亭々タル喬樹ノ一部ノミ若夫レ一樹集リ二樹合シ千樹萬木相聚リテ而シテ成ス所ノ森林ハ如何發シテ萬朶ノ雲ヲナシ顯ハレテ千頃ノ翠ヲナス絶大ノ美觀無比ノ壯麗ニシテ又國家ノ眞粹ナリ嗚呼誰カ森林ノ德澤ヲ思ハサルモノソ生キテハ風水ヲ調和シテ國家ノ元氣ヲ増シ死シテハ棟楹トナリテ生民ノ安寧ヲ保ツ實ニ森林ハ國ノ財寶ナリ而シテ又財寶ノ淵源ナリ噫國ヲ愛スルモノハ森林ヲ愛

セヨ森林ハ國家ト壽命ヲ同フシテ利民厚生ノ基ヲナスモノナリト説キ去リ説キ來ラハ誰カ感激セサルモノソ當サニ吐哺握髮シテ起ツヘキナリ而シテ此眞美眞粹ノ森林ハ唯々微少ナル種子ヨリ或立シタルヲ教ヘハ遂ニ自ラ鋤ヲ負テ播種、植樹ノ快ヲ覺ユニ至ルヘシ此心ハ遂ニ以テ森林愛護ノ念ヲ奮起セシムヘキナリ余ハ前段ノ鄙見ヨリ推及シ現今師範學校ニ授クル森林學科ノ種類及ヒ時間ハ左ノ如ク制定シタランニハ蓋シ適當ト信スレナリ

第一年級

林學通論

一年間

每週三時間

第二年級

林學通論

第一期

每週二時間

森林植物學

一年間

每週一時間

第三年級



造林學

一年間

每週一時間

森林保護學

一年間

每週一時間

森林數學

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林利用學

一年間

每週一時間

森林經理學

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

森林現行法規

一年間

每週一時間

セサレハ完全ノ教育ヲナス能ハス若シ師範學校ニ於テ森林學科ヲ  
加入セント欲セハ須ラク林學士又ハ森林學ノ智識アル者ヲ聘スヘ  
キナリ况ヤ教科書ニ乏シク全學科ニ充ツルニ足ラサルオヤ今左ニ  
輒今出版ニ係ル林學書ヲ示シ參考ニ資ス

大日本山林會々報

大日本山林會發行

農業全書造林篇

林學士

白井永次郎著 博文館

全 林產物製造篇上

林學士

氏著 全

全 林業篇

林學士

鈴木審三著 全

森林保護學

林學士

中牟田五郎著 八尾商店

森林眼

林學士

氏著 山林會取次

木材工藝的性質論

林學士

望月常譯 有隣堂

森林經濟論

林學士

全 氏譯 山林會取次

森林學

林學士

和田國次郎著 有隣堂



林政學 <small>前後編</small>	林學士	本多靜六著	山林會取次
山田野測量學	林學士	河合鋪太郎著	全
樟樹論	林學士	白河太郎著	全
木材尺の計算法	林學士	柴田榮吉著	全
樟腦製造法	理學士	守屋物四郎著	丸善書店
木材乾餾法	理學士	全	氏著
森林經理學		志賀泰山著	山林會發行
森林杞憂		高橋琢也著	團々社
町村林制論		全	氏著 哲學書院
林學講義錄		林學講習會發行	

此講義錄ハ初學者ヲ教育セントノ目的ヲ以テ發行シタルモノ  
ニシテ近年林學ノ一新書ナリ森林植物學、森林動物學、造林  
學、測樹學、測量學森林利用學、森林經理學ヲ講義ス毎月一

回發行



明治三十年十月十五日印刷  
明治三十年十月二十三日發行

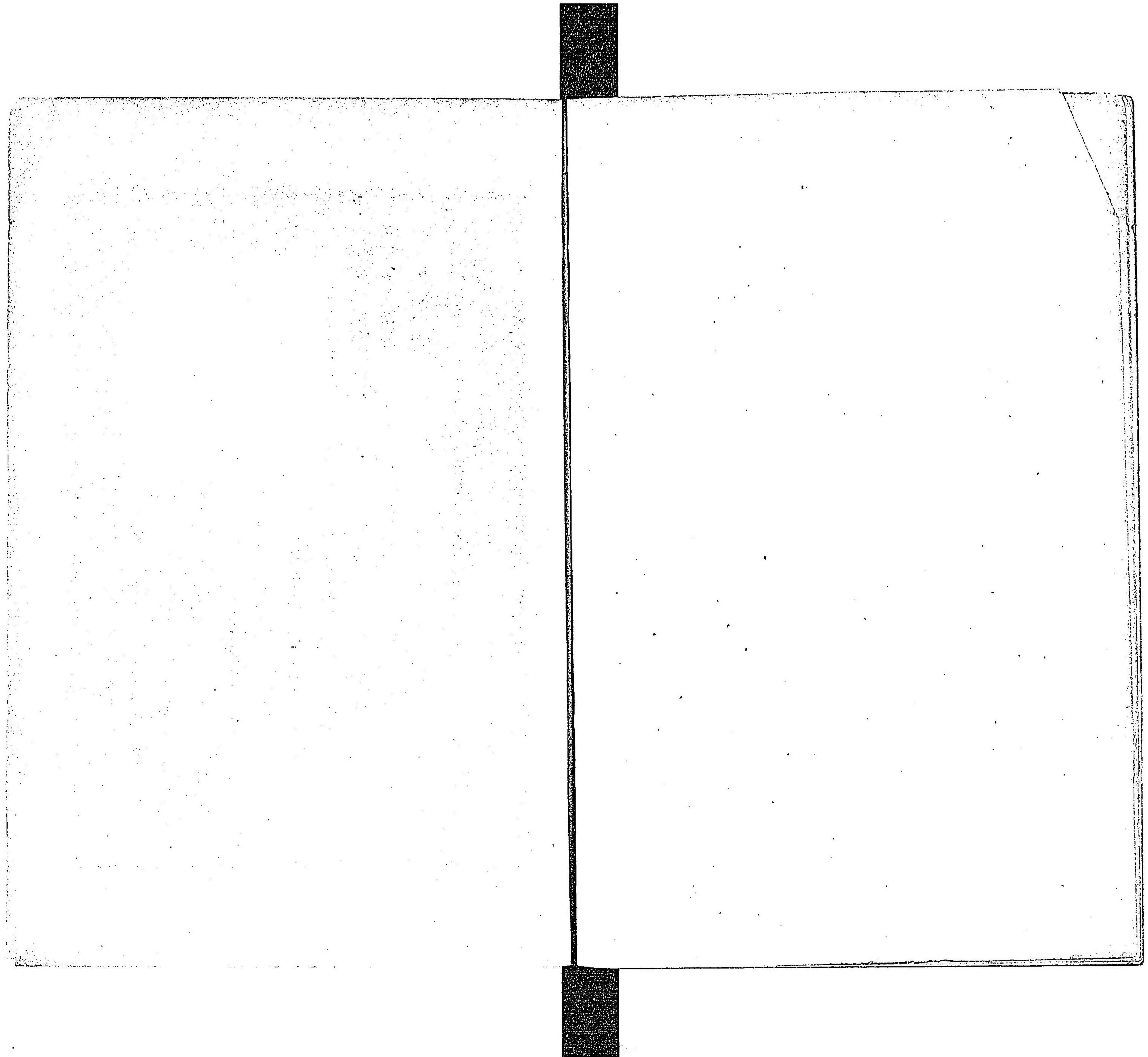
定價 金參拾五錢

著作兼發行者 東京市牛込區東五軒町三十五番地  
中 牟 田 五 郎

印刷者 東京市日本橋區兜町二番地  
加 藤 清 一

印刷所 東京市日本橋區兜町二番地  
東京印刷株式會社

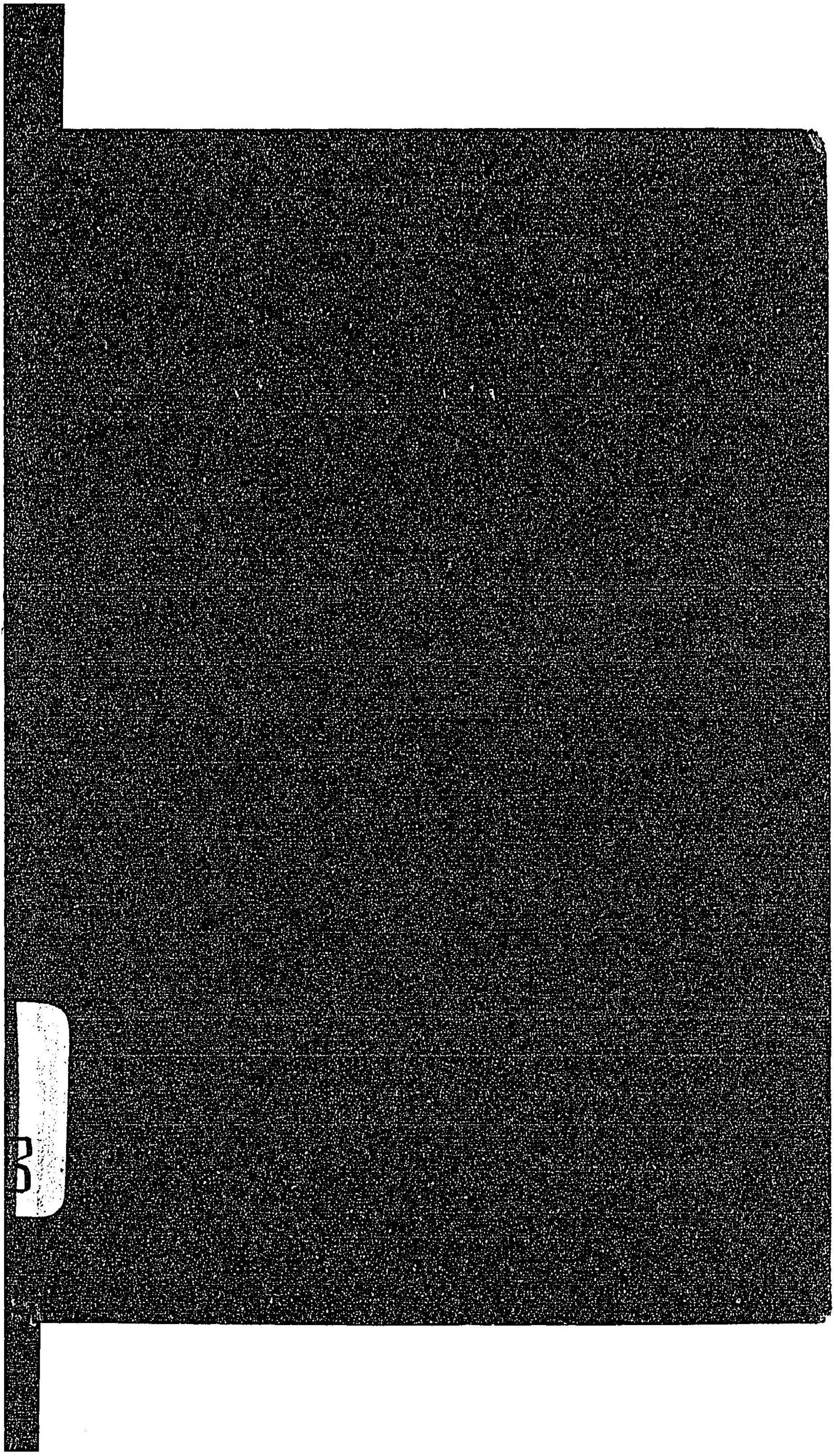






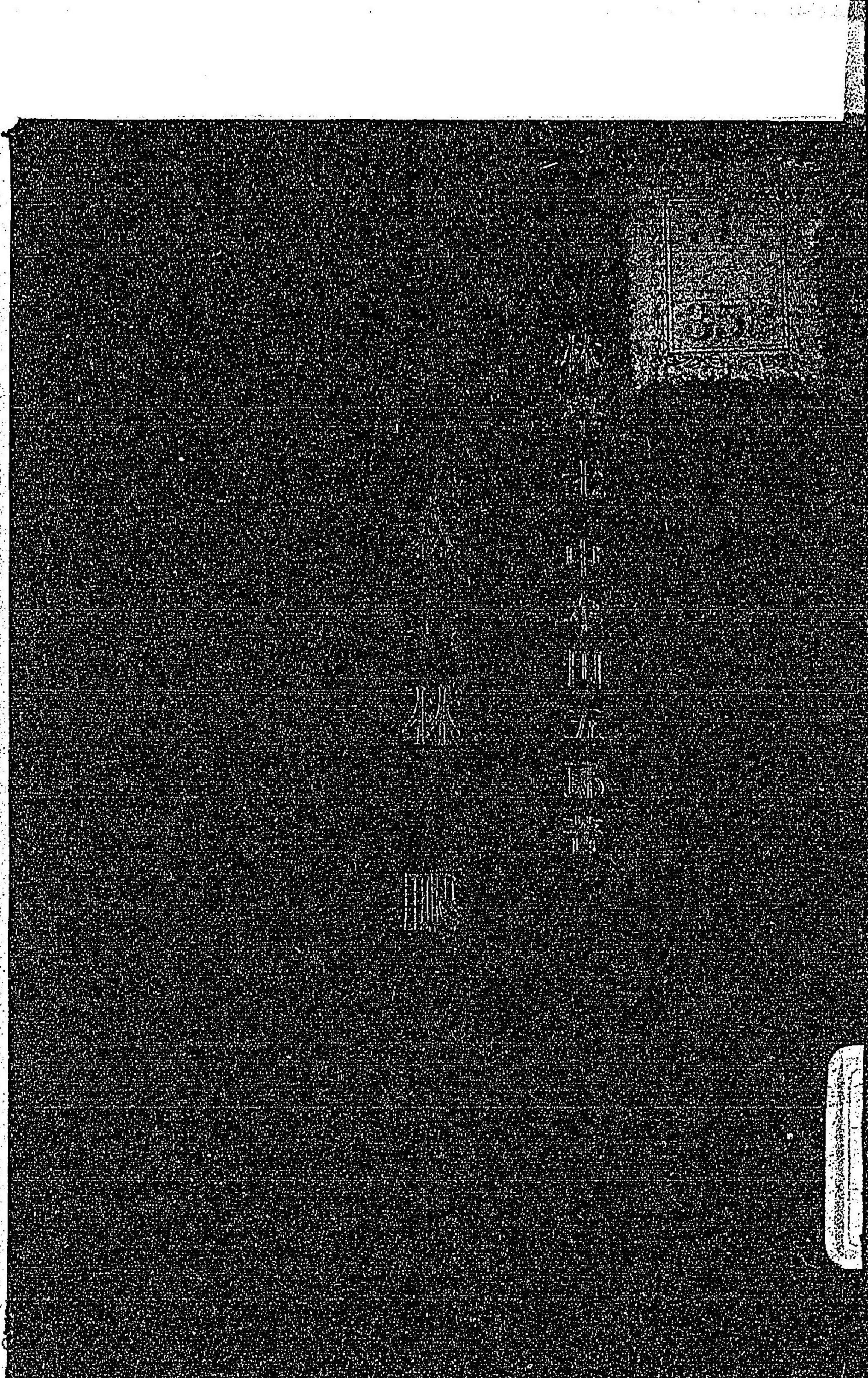
71
353





8





065289-000-5

71-353

森林眼

中牟田 五郎/著

M30. 10

CCE-0126

